SONY

4-155-533-**01**(2)

HDD搭載オーディオシステム

CMT-E350HD
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SONY　HDD搭載オーディオシステム　CMT-E350HD

「HDDコンポ<ネットジューク>／システムステレオ」サポートページ
http://www.sony.co.jp/netjuke-support/
HDD搭載オーディオシステムの最新情報や、困ったときの対処方法などを掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「306」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China

安全のために ⚠警告

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

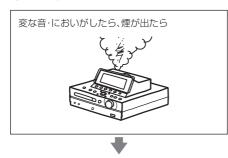
動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

必ずお読みください

ハードディスクについて

ハードディスクは衝撃、振動などに弱いため、下記を必ず守ってご使用ください。詳しくは、91ページをご覧ください。

- 衝撃を与えない。
- コンセントを差したまま本機を動かさない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- 録音、再生中は、本機を動かしたり、コンセントを抜かない。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設をしない。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

本機のハードディスクに記録されたデータは、通常の使用において壊れる可能性があります。
ハードディスク内のデータが壊れたことによる一切の責任を弊社は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- 本機を使用中、万一不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

著作権保護について

あなたが本機で録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

「ファンクション」について

この取扱説明書では、本機で再生できるHDD、CD、ラジオ、"ウォークマン"、外部機器の各音源を指定するための機能を「ファンクション」と呼んでいます（HDDファンクション、CDファンクションなど）。各ファンクションによってできることや、オプションメニューなどの内容が異なります。

デモ表示について

本機は、お買い上げ後、初めて電源プラグをコンセントに差し込むと、デモ表示が自動的に始まる設定になっています。（電源が切れている状態でも、表示窓にバックライトがつき、いろいろな表示が出ます。）
デモ表示を消すには、「デモ表示を解除する」（23ページ）をご覧下さい。

本機に内蔵されているソフトウェア「Title Updater」について

本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に内蔵されているソフトウェアに関するお知らせ（「ソフトウェア使用許諾契約書」（別紙））をご覧ください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

本書で使われているイラストについて

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。

この取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じ名前の本体のボタンは、同じ働きをします。

目次

準備する

HDDに取込む･HDDから転送する

再生する

タイトル情報を取得･編集する

編集する

その他の設定をする

困ったときは

注意事項/主な仕様

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱などによる大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、数時間たってから症状が現れることもあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

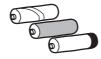
警告

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

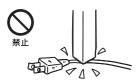
＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

火災　感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。

ガス管にアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

指のケガに注意

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

禁止

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

安定した場所に置く

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

指示

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。
通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

コード類は正しく配置する

本機に取り付ける電源コードやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

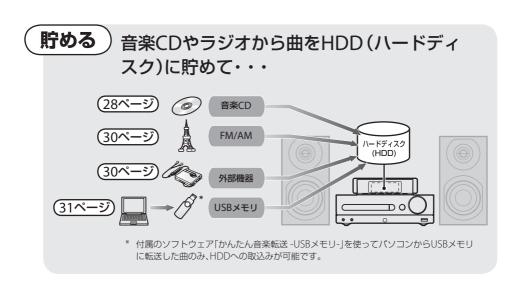
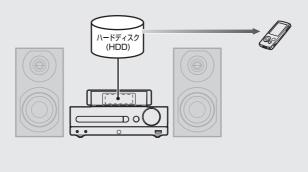
本機の楽しみかた

貯める

音楽CDやラジオから曲をHDD（ハードディスク）に貯めて・・・

* 付属のソフトウェア「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」を使ってパソコンからUSBメモリに転送した曲のみ、HDDへの取込みが可能です。

聴く

再生モードを選んでいろいろな方法で曲を聴く 49ページ

持ち出す “ウォークマン”に転送して、曲を聴く 35ページ

さらにパソコンとUSBメモリを使って・・・

■ 最新のタイトル情報を取得する 58ページ

本機には、2009年5月時点のタイトル情報のデータベースが搭載されています。これ以降に発売された楽曲のタイトル情報は、本機に内蔵されている「Title Updater」ソフトウェアを使って、インターネット上のGracenote® Music Recognition Serviceのデータベースから取得することができます（USBメモリを介してデータをやり取りします）。
タイトル情報の取得、編集について詳しくは、「本機のタイトル情報について」（52ページ）をご覧ください。

■ パソコン内の音楽ファイルを取込む 31ページ

本機に付属のCD-ROM「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使って、パソコン内の音楽ファイルをUSBメモリに転送し、USBメモリを介して本機に音楽ファイルを取込むことができます。

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

- ❑ **リモコン(1)**

  本体の色に関わらず、リモコンは白になります。

- ❑ **リモコン用単3形(R6)乾電池(2)**

- ❑ **FM簡易ワイヤーアンテナ(1)**

  次のどちらか1つが付属されています。

または

- ❑ **AMループアンテナ(1)**

- ❑ **“ウォークマン”用アタッチメント(2)**

タイプA

タイプB

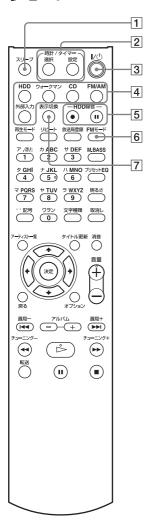
アタッチメントのタイプ(AまたはB)は、アタッチメントの裏面に記載されています。
各アタッチメントに対応する“ウォークマン”の機種名ついては95ページをご覧ください。

- ❑ **CD-ROM(かんたん音楽転送 -USBメモリ-)(1)***

- ❑ **取扱説明書(本書)(1)**
- ❑ **ソフトウェア使用許諾契約書(1)**
- ❑ **製品カスタマー登録のお願い(1)**
- ❑ **ソニーご相談窓口のご案内(1)**
- ❑ **保証書(1)**

* CD-ROMは、本機やCDプレーヤーなどで再生しないでください。

各部の名称とはたらき

リモコン

1 **スリープボタン**

スリープタイマーの設定／確認に使います（66ページ）。

2 **時計/タイマーボタン**

- 選択ボタン
  タイマー設定を確認、中止します（67、69ページ）。
- 設定ボタン
  時計設定時やタイマー設定時にメニューを表示します（24、67、69ページ）。

3 **I/⏻（電源）ボタン**

電源を入／切します。

4 **ファンクション切り換えボタン**

ファンクションを切り換えます。

- HDDボタン（29、37、40、55、65ページ）
- ウォークマンボタン（39、46ページ）
- CDボタン（28、42ページ）
- FM/AMボタン（44ページ）
- 外部入力ボタン（48ページ）

5 **HDD録音ボタン**

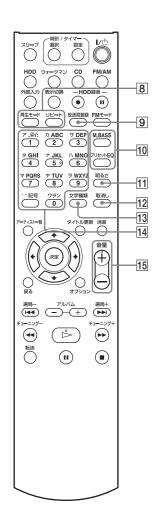
HDDへの録音に使います。

- HDD録音●（録音開始）ボタン（29ページ）
- HDD録音❚❚（録音一時停止）ボタン（30ページ）

6 **FMモードボタン**

FM局を受信中にステレオ音声とモノラル音声を切り換えます（44ページ）。

7 **表示切換ボタン**

時計表示やHDDの空き容量、デモ表示など、画面表示を切り換えます（40、72ページ）。

8 **再生モード、リピートボタン**

- 再生モードボタン
  再生モードを選ぶときに使います(49ページ)。
- リピートボタン
  リピートモードを選ぶときに使います(50ページ)。

9 **放送局登録ボタン**

ラジオの放送局を登録するときに使います(45ページ)。

10 **M.BASS、プリセットEQボタン**

- M.BASSボタン
  重低音を強調します。
  ボタンを押すたびに、表示窓にMEGA BASSが点灯(MEGA BASS機能オン:重低音強調)/消灯(MEGA BASS機能オフ)が切り替わります。お買い上げ時は、MEGA BASS機能がオンに設定されています。
- プリセットEQボタン
  あらかじめ登録されている音質に切り換えます。
  ボタンを押すたびにプリセットEQが以下の順番で切り換わります。
  ◆フラット → ロック → ポップス → ジャズ → ボーカル → フラット → …
  (◆:お買い上げ時の設定)

11 **明るさボタン**

画面の明るさを変えるときに使います(71ページ)。

12 **取消しボタン**

編集中の操作を中止するときや、文字入力中に文字を消すときに使います(50、56ページ)。

13 **文字種類ボタン**

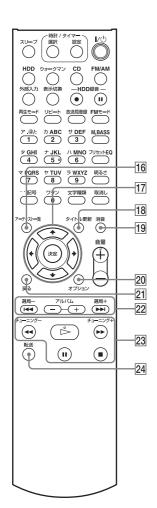
文字入力中にカタカナ、ひらがな、アルファベットなど、文字の種類を切り換えます(56ページ)。

14 **数字* /文字入力ボタン**

再生時の曲番の指定や文字入力に使います(40、43、56ページ)。

15 **音量+*、音量−ボタン**

本機の音量を調節します。

* 数字ボタンの5、音量+ボタンには、凸点(突起)が付いています。操作の目印として、お使いください。

16 アーティスト一覧ボタン

HDD内のアーティストの頭文字の一覧を表示し、検索モードに入ります（51ページ）。

17 メニュー操作ボタン

メニューを選んで決定します。

- ↑/↓/←/→ボタン
  項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
  操作を決定するときに使います。

18 タイトル更新ボタン

タイトル更新メニューを表示します（59ページ）。

19 消音ボタン

音声を消します。音声を出すには、もう一度消音ボタンを押すか、音量＋/–ボタンを押します。

20 オプションボタン

オプションメニューを表示します（29、39、43、55、65ページ）。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。

21 戻るボタン

操作中の画面をひとつ前の画面に戻します（39、41、57、65ページ）。

22 選局－・⏮、選局＋・⏭、アルバム＋、アルバム－ボタン

- ⏮、⏭ボタン
  曲の頭出しに使います（40、43、47、50ページ）。
- 選局＋、選局－ボタン
  ラジオの放送局の登録番号の選択に使います（45ページ）。
- アルバム＋、アルバム－ボタン
  アルバムを選びます（40、47ページ）。

23 ファンクション共通操作ボタン

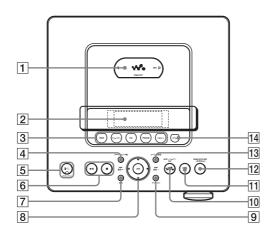
各ファンクション共通で使うボタンです。

- ▷（再生）ボタン*
- ◀◀（早戻し）・チューニングー、▶▶（早送り）・チューニング＋ボタン
- ❚❚（一時停止）ボタン
- ■（停止）ボタン

24 転送ボタン

HDDから"ウォークマン"へ曲を転送するときに使います（37ページ）。

* 共通操作▷（再生）ボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

本体上面

1 **"ウォークマン"用アタッチメント取り付け部（WM-PORT）**

"ウォークマン"と接続するときに、"ウォークマン"に付属のアタッチメント、または本機に付属のアタッチメントを取り付けます（35ページ）。

2 **画面（18ページ）**

3 **ファンクション切り換えボタン**

ファンクションを切り換えます。

- HDDボタン（29、37、40、55、65、73ページ）
- ウォークマンボタン（39、46ページ）
- CDボタン（28、42ページ）
- FM/AMボタン（44ページ）
- 外部入力ボタン（48ページ）

4 **アーティスト一覧ボタン**

HDD内のアーティストの頭文字の一覧を表示し、検索モードに入ります（51ページ）。

5 **I/⏻（電源）ボタン、スタンバイランプ**

- I/⏻（電源）ボタン
  電源を入／切します。
- スタンバイランプ
  電源が切れているときに点灯します。
  スタンバイランプが点滅する場合は、「スタンバイランプが点滅しているときは」（78ページ）をご覧ください。

6 **HDD ／ウォークマン／ CDファンクション共通操作ボタン**

HDD ／ウォークマン／ CDファンクション共通で使うボタンです。

- ▶❚❚（再生・一時停止）ボタン
- ■（停止）ボタン

7 **戻るボタン**

操作中の画面をひとつ前の画面に戻します（39、41、57、65、73ページ）。

8 **メニュー操作ボタン、⏮・選局－、⏭・選局＋ボタン**

メニューを選んで決定します。

- ⬆/⬇/⬅/➡ボタン
  項目の選択や設定値を変更するときに使います。
- 決定ボタン
  操作を決定するときに使います。
- ⏮・選局－、⏭・選局＋ボタン
  曲の頭出しやラジオの放送局の登録番号の選択に使います（40、43、45、47、50ページ）。

9 **オプションボタン**

オプションメニューを表示します（29、39、43、55、65ページ）。使用しているファンクションに合わせてメニューの内容が変わります。
電源が切れている状態でデモ表示が始まった場合は、このボタンを押すとデモ表示が解除されます（23ページ）。

10 **HDD➔ウォークマン転送ボタン**

HDDから"ウォークマン"へ曲を転送するときに使います(37、73ページ)。

11 **HDD録音ボタン**

CDやラジオ、外部入力端子に接続した機器の音声をHDDに録音します(29ページ)。

12 **WM-PORT/USB➔HDD取込みボタン**

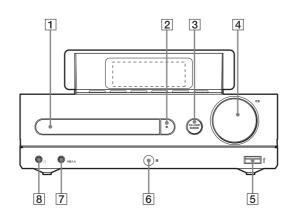
USBメモリ(または"ウォークマン")からHDDに曲を取込むときに使います(33ページ)。

13 **タイトル更新ボタン**

タイトル更新メニューを表示します(59ページ)。

14 **カラーボタン**

画面のバックライトの色を変更します(71ページ)。

本体前面

1 **CDトレイ**

CDを挿入します(28、42ページ)。

2 **⏏ボタン**

CDトレイが開閉します(28、42ページ)。

3 **CD➔HDD高速録音ボタン**

CDをHDDに高速で録音するときに使います(28ページ)。

4 **音量ダイヤル**

音量を調整します。

5 **(USB)端子**

"ウォークマン"やUSBメモリをつなぎます(33、39、46、59、74ページ)。

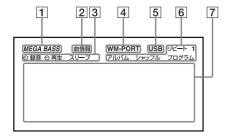
6 **リモコン受光部**

7 **外部入力端子**

別売りの機器のオーディオ出力端子とつなぎます(48ページ)。

8 **(ヘッドフォン)端子**

ヘッドホンをつなぎます。

画面

1 MEGA BASS表示

MEGA BASS機能が働いているときに点灯します（14ページ）。

2 曲情報表示

再生中の曲のID3タグ情報を表示中に点灯します。

3 タイマー表示

- ◴録音
  タイマー録音の設定をすると点灯します（69ページ）。
- ◴再生
  ウェイクアップタイマーの設定をすると点灯します（67ページ）。
- スリープ
  スリープタイマーの設定をすると点滅します（66ページ）。

4 WM-PORT表示

"ウォークマン" がWM-PORTに接続されると点灯します（36、39、46ページ）。

5 USB表示

"ウォークマン" やUSBメモリが ψ（USB）端子に接続されると点灯します（33、39、46、59、74ページ）。

6 再生モード表示

再生モードが選択されているときに点灯します（49ページ）。

7 テキスト情報表示部

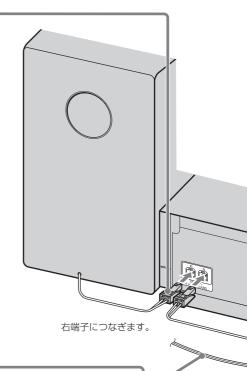
曲名やアルバム名、ファンクション名などのテキスト情報や、進捗を表すプログレスバーなどを表示します。

接続する

スピーカーコード

スピーカーコードの突起部を上に向けてスピーカー端子の奥までしっかりと挿入してください。

！ご注意

- 付属以外のスピーカーを使用することはできません。
- 付属以外のスピーカーケーブルを使用したり、スピーカーケーブルを延長して使用することはできません。
- スピーカーは防磁型ではありません。テレビなど他のAV機器から離して設置してください。
- スピーカーコードを本体からはずすときは、本体をおさえ、スピーカープラグ部分を持って引き抜いてください。（スピーカーコードを持って引き抜かないでください。）

電源コード

⚠注意

すべての機器をつないだあと、本機の電源コードを、コンセントにつないでください。
お買い上げ後、初めて電源プラグをコンセントへ差し込むと、デモ表示が自動的に始まります。（本機は、電源が切れている状態でも表示窓にバックライトがつき、デモ表示されるように設定されています。）デモ表示中にオプションボタンを押すとデモ表示を消すことができます。
デモ表示について詳しくは、「デモ表示を解除する」（23ページ）をご覧ください。

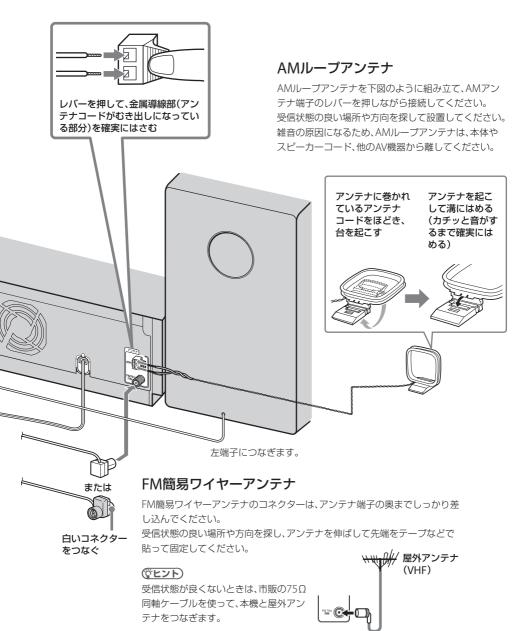
AMループアンテナ

AMループアンテナを下図のように組み立て、AMアンテナ端子のレバーを押しながら接続してください。
受信状態の良い場所や方向を探して設置してください。
雑音の原因になるため、AMループアンテナは、本体やスピーカーコード、他のAV機器から離してください。

FM簡易ワイヤーアンテナ

FM簡易ワイヤーアンテナのコネクターは、アンテナ端子の奥までしっかり差し込んでください。
受信状態の良い場所や方向を探し、アンテナを伸ばして先端をテープなどで貼って固定してください。

ヒント

受信状態が良くないときは、市販の75Ω同軸ケーブルを使って、本機と屋外アンテナをつなぎます。

その他の端子について

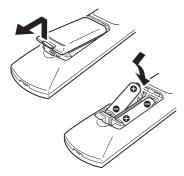
外部入力端子（本体前面）

音声接続コード（別売り）を使って、別売りのオーディオ機器（ポータブル機器など）をつなぎます。本機でアナログ音声を再生、録音できます（48ページ）。

ψ（USB）端子（本体前面）

"ウォークマン"やUSBメモリをつなぐときに使います。USBメモリと本機に付属のソフトウェアを使って、パソコンの音楽ファイルを取込んだり（31ページ）、タイトル情報を取得できます（58ページ）。

リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、リモコンに単3形乾電池（R6、付属）2個を入れます。
リモコン操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

！ご注意

- 電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  — ＋と－の向きを正しく入れてください。
  — 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
  — 電池は充電しないでください。
  — 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
  — 液漏れしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。リモコンで操作できないことがあります。
- 電池の交換時期は約6か月です。リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

本機を移動するときは

必ず以下のことを確認してください。

- CDを取り出してください。
- 電源が切れ、すべての動作が終了していることを確認してください。

デモ表示を解除する

本機は、電源が切れている状態でも表示窓にバックライトがつき、デモ表示されるように設定されています。

デモ表示を解除するには次の操作を行ってください。

1 I/⏻（電源）ボタンを押して電源を切る。

スタンバイランプが点灯します。
お買い上げ後、初めて電源コードをコンセントにつなぎ、デモ表示が始まった場合は、手順2へ進んでください。

2 デモ表示が始まったら、本体のオプションボタンを押す。

3 「デモ表示▶解除します」と表示されたら、決定ボタンを押す。

時計が表示されます。お買い上げ後、初めて本機をお使いになる場合など、時計が設定されていないときは、「－－－－年－－月－－日　－－：－－」と表示されます。時計の設定については、24ページをご覧ください。
「デモ表示▶解除します」と表示されたまま、しばらく何も操作しないと、自動的にデモ表示画面に戻ります。

デモ表示について

表示切換ボタンを押してデモ表示を解除することもできます（72ページ）。ボタンを押すたびに画面表示が次のように切り替わります。
◆デモ表示 → 時計表示 → 省電力モード（表示なし） → デモ表示 → …
（◆：お買い上げ時の設定）

時計表示または省電力モードに設定すると、デモ表示が表示されなくなります。
デモ表示に設定すると、次の場合にデモ表示が表示されます。
- 電源を切ったとき
- 電源が入っている状態で、何も操作をしない状態が15分続いたとき（ファンクションがHDD/CD/ウォークマンの場合のみ）

時計を合わせる

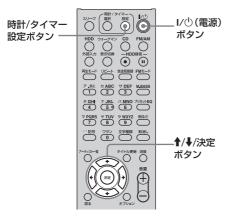
本機の機能を正しく使うには、時計を正しく合わせておく必要があります。以下の手順で時計を合わせてください。

1 I/⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

2 時計/タイマー設定ボタンを押す。

時計設定画面が表示され、「年」部分が点滅します。

「時計/タイマー設定」メニューが表示された場合は、⬆/⬇ボタンで「時計設定」を選び、決定ボタンを押してください。

3 ⬆/⬇ボタンを押して年を合わせ、決定ボタンを押す。

4 手順3を繰り返して月／日／時／分を合わせる。

年月日を合わせると、曜日が自動的に設定されます。

分を合わせて決定ボタンを押すと、時計が設定されます。

停電になったり、電源コードを抜くと時計設定は解除されます。

地域を設定をする

お買い上げ後に初めて本機の電源を入れると、表示窓に地域設定画面が表示されます。この設定を行うと、ラジオを受信したときに放送局名が自動的に表示されるようになります。本機をお使いの地域を設定してください。放送局名の一覧は96ページをご覧ください。

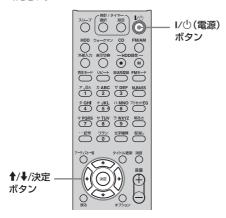
1　I/⏻ボタンを押して電源を入れる。

「放送局名を表示するには地域を設定してください」と表示されたあと、地域の一覧が表示されます。

2　↑/↓ボタンを押して本機をお使いの地域を選び、決定ボタンを押す。

「設定しない」を選ぶと放送局名は表示されません。

ヒント

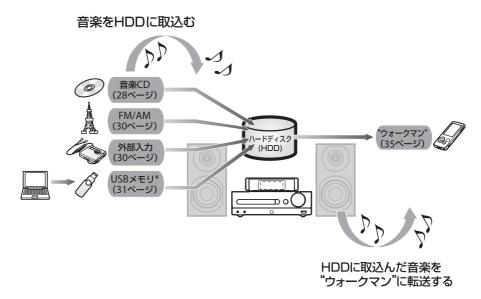
あとから地域を設定したり、引越ししたときなどに地域を設定しなおすことができます。詳しくは「地域設定を変更する」（45ページ）をご覧ください。

！ご注意

放送を受信する場所によっては、表示される放送局名と実際に受信している放送局とが異なる場合があります。その場合は、地域設定を「設定しない」に設定し、放送局名を表示させずにお使いください。

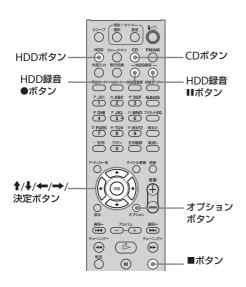
HDDへの取込みと転送について

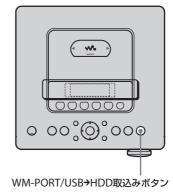
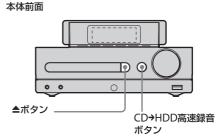
多彩な音源から音楽をHDDに取込み、本機で音楽データを一括管理することができます。また、HDDに取込んだ音楽を"ウォークマン"に転送して持ち出すこともできます。
パソコンに保存されている音楽データを取込むには、本機に付属のソフトウェア「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」を使って、パソコンからUSBメモリに保存し、USBメモリから本機のHDDへ音楽データを取込みます。

！ご注意

- CD、ラジオから"ウォークマン"に直接録音することはできません。
- "ウォークマン"からHDDに音楽データを取込むことはできません。
- 他社製携帯音楽プレーヤーや携帯電話、携帯ゲーム機などから本機へ音楽データを取込んだり転送したりすることはできません。

* 付属のソフトウェア「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」を使ってパソコンからUSBメモリに転送した音楽データのみ、HDDへの取込みが可能です。詳しくは31ページをご覧ください。

HDDに録音する／取込む

CDやラジオ、外部入力端子に接続した機器から録音します。付属のソフトウェア「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」を使ってパソコンの音楽をUSBメモリに保存し、本機に取込むこともできます。
本機に録音/取込みした曲は、自動的にMP3形式に変換されます。CD、ラジオ、外部機器から録音する際のビットレートは、128 kbpsまたは256 kbpsから選択することができます（29ページ）。「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使って音楽データを本機に取込む際のビットレートは、自動的に128 kbpsとなります。

本体上面

本体前面

CDを録音する

音質を選ぶ場合は、「録音の音質を選ぶには」（29ページ）を行ってから、次の操作を行ってください。

1 CDボタンを押してCDファンクションにし、本体の⏏ボタンを押してCDトレイを開け、ディスクを入れる。

8 cm CDは、トレイ中央のくぼみに合わせて入れてください。

2 もう一度⏏ボタンを押してトレイを閉める。

本機のデータベースから自動的にタイトル情報を検索して表示します。

MEGA BASS
CD
候補から選んでください
▶HDD STYLE
該当なし

- 1枚のCDに対して複数のタイトル情報がある場合は、⬆/⬇ボタンを押してタイトルを選び、決定ボタンを押してください。
- 正しいタイトル情報がない場合は、⬆/⬇ボタンを押して「該当なし」を選び、決定ボタンを押してください。
- タイトル情報がない場合は、タイトル情報の検索結果は表示されません。そのまま手順3へ進んでください。

！ご注意

CDトレイを手で押して閉めないでください。故障の原因となります。

3 本体のCD➔HDD高速録音ボタンを押す。

録音速度の設定（29ページ）にかかわらず、高速録音が始まり、CDの全曲が録音されます。高速録音中は音が出ません。録音が終わると自動的に停止します。

！ご注意

本機のデータベースは、2009年5月時点の楽曲情報を搭載しています。これ以降に発売された楽曲については、本機のデータベースに情報がないため、タイトル情報の検索結果が表示されない、または正しいタイトル情報が表示されません。録音後に名前を編集するには、次の方法で名前をつけてください。

- タイトル情報がない場合、または本機のデータベースに正しいタイトル情報がなく「該当なし」を選んで録音した場合：
  本機の名前編集機能を使うか（55ページ）、「Title Updater」ソフトウェアを使って最新のタイトル情報を取得してください（58ページ）。
- 間違ったタイトル情報を取得して録音してしまった場合：
  「Title Updater」ソフトウェアを使って最新のタイトル情報を取得してください（58ページ）。

タイトル情報の取得、編集について詳しくは、「本機のタイトル情報について」（52ページ）をご覧ください。

ヒント

- どのファンクションを選んでいるときでも、CD➔HDD高速録音ボタンを押すとCDからHDDへの高速録音が始まります。
- 「該当なし」を選んで録音した場合や、タイトル情報がなく、そのまま録音した場合、HDDには「（CD）」というアーティスト名で録音されます。HDD内のデータ階層について詳しくは41ページをご覧ください。

* 番号は録音された順に付きます。

録音を途中で止めるには

■ボタンを押します。

CDの1曲のみを録音するには

1 **CDボタンを押してCDファンクションにし、本体の⏏ボタンを押してCDトレイを開け、ディスクを入れる。**

2 **もう一度⏏ボタンを押してトレイを閉める。**
タイトル情報の取得については、「CDを録音する」(28ページ)の手順2をご覧ください。

3 **HDD録音●ボタンを押す。**
録音待機状態になります。

4 **⬆/⬇ボタンを押して録音したい曲を選び、決定ボタンを押す。**
録音が始まります。
「すべての曲」を選ぶと全曲録音します。

ヒント
1曲のみを録音した場合、その曲はHDD内の次の場所に録音されます。HDD内のデータ階層について詳しくは41ページをご覧ください。

* 曲名がない場合は「Track01.mp3」(ディスクの1曲目を録音した場合)という名前で録音されます。ディスク内の3曲目を録音した場合は「Track03.mp3」、7曲目の場合は「Track07.mp3」というように、ディスク内の曲番が名前に反映されます。

録音速度を変えるには

HDD録音●ボタンを押したときの録音速度を設定することができます。録音操作を始める前に設定してください。

1 **CDボタンを押してCDファンクションにする。**

2 **オプションボタンを押す。**

3 **⬆/⬇ボタンを押して「CD録音速度」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **⬆/⬇ボタンを押して「高速:再生音なし」または「通常:再生音あり」を選び、決定ボタンを押す。**

◆ 高速:再生音なし	約4倍速で高速録音します。このとき、再生音を聞くことはできません。
通常:再生音あり	通常のスピードで録音します。再生音を聞くことができます。

(◆:お買い上げ時の設定)

録音の音質を選ぶには

CD、ラジオ、外部機器から録音する場合は、録音の音質を選ぶことができます。録音操作を始める前に設定して下さい。

1 **HDDボタンを押してHDDファンクションにする。**

2 **オプションボタンを押す。**

3 **⬆/⬇ボタンを押して「録音の音質」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **⬆/⬇ボタンを押して「通常(128kbps)」または「高音質(256kbps)」を選び、決定ボタンを押す。**

◆ 通常(128kbps)	128 kbpsで録音されます。256 kbpsよりデータ容量が小さくなります。
高音質(256kbps)	256 kbpsで録音されます。データ容量は大きくなりますが、128 kbpsより高い音質で音楽を楽しむことができます。

(◆:お買い上げ時の設定)

!ご注意
CDから録音したあとは、本機で曲のビットレート(128 kbpsまたは256 kbps)を確認することができません。曲のビットレートを確認するには、"ウォークマン"へ転送し詳細情報を確認するか、パソコンに保存して(74ページ)パソコン上で確認してください。

お好みの曲だけを録音するには

再生モードをプログラムモードにして、プログラム登録した曲のみをHDDに録音することができます。録音前にお好みの曲をプログラムしてください（50ページ）。

1 **CDボタンを押してCDファンクションにする。**
   タイトル情報の取得については、「CDを録音する」（28ページ）の手順2をご覧ください。

2 **「好きな順に曲を聞く（プログラム再生」（50ページ）の手順1 〜 4を行って、お好みの曲をプログラムする。**

3 **本機が停止している状態でHDD録音●ボタンを押す。**

4 **↑/↓ボタンを押して「すべての登録曲」を選び、決定ボタンを押す。**
   録音が始まります。

！ご注意

- CDの再生時に比べ、CD録音時に振動や音が大きくなることがありますが、高速回転でHDDに録音するためで、故障ではありません。また、CDの種類によっては、振動や音の大きさが異なる場合があります。
- タイトル情報に本機では表示できない文字があった場合、本機はアンダースコア（ _ ）に置き換えて表示します。

ヒント

プログラム登録された曲を録音した場合、その曲はHDD内の次の場所に録音されます。HDD内のデータ階層について詳しくは41ページをご覧ください。

*1 番号は録音された順に付きます。

*2 曲名がない場合は「Track01.mp3」（ディスクの1曲目を録音した場合）という名前で録音されます。ディスク内の3曲目を録音した場合は「Track03.mp3」、7曲目の場合は「Track07.mp3」というように、ディスク内の曲番が名前に反映されます。

ラジオ、外部入力の機器から録音する

音質を選ぶ場合は、「録音の音質を選ぶには」（29ページ）を行ってから、次の操作を行ってください。

1 **録音の準備をする。**
- ラジオから録音する場合：
  お好みの放送局を受信する（44ページ）。
- 外部入力の機器から録音する場合：
  外部入力ファンクションにし、機器を外部入力端子に接続する（48ページ）。

2 **HDD録音●ボタンを押す。**
   録音が始まります。
   60分ごとに自動的にトラックマークがつき、新しい曲として録音されます。

録音を停止するには

■ボタンを押します。

録音を一時停止するには

HDD録音❚❚ボタンを押します。
録音を再開すると、新しいトラックマークがつき、新しい曲として録音されます。

ヒント

- ラジオまたは外部入力の機器からの録音中にHDD録音●ボタンを押すと、ボタンを押したところにトラックマークがつき、それ以降は新しい曲となります。トラックマークをつける間隔は、最小4秒です。
- 録音された内容は次のような名前で保存されます。HDD内のデータ階層について詳しくは41ページをご覧ください。

*1 番号は各録音元で録音された順に付きます。

*2 1度の録音で1つのフォルダ（アルバム）に入る曲は、99曲までです。100曲目以降は番号がついたフォルダ（アルバム）が作られ、そこに保存されます。
例：「放送局名（0002）」（放送局名がない場合は「周波数（0002）」）や「外部入力0002」など

*3 放送局名がない場合は周波数が表示されます。

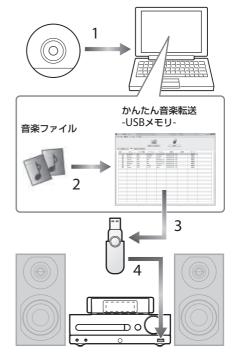
USBメモリを使ってパソコンの音楽ファイルを取込む

付属のソフトウェア「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」を使って、パソコンからUSBメモリに音楽ファイルを転送し、そのUSBメモリを本機に接続して音楽ファイルをHDDに取込むことができます。取込んだ音楽ファイルは自動的にMP3形式、128 kbpsに変換されます。
以下の手順に従って操作をします。

1 **「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアをパソコンにインストールする（32ページ）。**

2 **パソコン内の音楽ファイルを「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込む（32ページ）。**

3 **「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込んだ音楽ファイルをUSBメモリに転送する（32ページ）。**

4 **USBメモリから本機に音楽ファイルを取込む（33ページ）。**

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアのヘルプは、以下のいずれかの方法で表示できます。

- パソコンの[スタート]メニューから[すべてのプログラム] – [かんたん音楽転送 -USBメモリ-] – [かんたん音楽転送 -USBメモリ- のヘルプ]を選ぶ。
- 「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアの[ヘルプ]メニューから[かんたん音楽転送 -USBメモリ- のヘルプ]を選ぶ。

ヒント

USBメモリのかわりに“ウォークマン”もお使いいただけます。“ウォークマン”をお使いになる場合は、以下の点にご注意ください。

- WM-PORTと(USB)端子両方に“ウォークマン”またはUSBメモリが接続されている場合、WM-PORT側の“ウォークマン”が優先的に認識されます。(USB)端子側の機器をお使いになる場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。
- 充分に空き容量のある“ウォークマン”をお使いください。

！ご注意

本機に取込める音楽ファイルは、付属のソフトウェア「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使ってUSBメモリに転送した音楽ファイルのみです。「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使わずにUSBメモリに音楽ファイルを転送した場合、「HDDへ転送できません」と表示され、本機に取込むことはできません。

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアをパソコンにインストールするには

インストール前にご確認ください

本ソフトウェアを使用するために必要なパソコンの動作環境については、94ページをご覧ください。

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

Administrator権限、またはコンピューターの管理者でログオンしてください。

2 **本機に付属の「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアのCD-ROMを、パソコンのドライブに入れる。**

インストーラーが自動的に起動し、インストール画面が表示されます。

3 **画面の注意事項を読み、指示に従ってインストールする。**

インストールが開始されます。
インストールが完了したら、CD-ROMを取り出してください。

パソコン内の音楽ファイルを「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込むには

以下の操作をパソコンで行います。

1 **[スタート]メニューから[すべてのプログラム] – [かんたん音楽転送 -USBメモリ-] – [かんたん音楽転送 -USBメモリ-]を選び、ソフトウェアを起動する。**

2 **[音楽ファイルの取込み]をクリックする。**

取込んでいない音楽ファイルを「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込みます。

ヒント

初めて「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを起動したときは、「ミュージック」（Windows XPの場合は「マイ ミュージック」）フォルダ内の音楽ファイルを検索して、音楽ファイルを自動的に「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込みます。

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込んだ音楽ファイルをUSBメモリに転送するには

以下の操作をパソコンで行います。

1 **USBメモリをパソコンにつなぐ。**

2 **[未転送]タブをクリックし、転送したい音楽ファイルのチェックボックスにチェックが付いているかを確認する。**

転送したくない音楽ファイルは、チェックボックスをクリックしてチェックをはずします。再度クリックすると、チェックが付きます。

3 **[転送]をクリックする。**

「転送先の指定」画面が表示されます。

4 **「転送先」のリストからつないだUSBメモリを選び、[OK]をクリックする。**

転送開始のダイアログが表示され、手順2で選んだ音楽ファイルの転送が始まります。転送が終了すると、転送結果が表示されます。
転送した音楽ファイルは、USBメモリに作られる「MUSICTRANSFER」フォルダに保存されます。

5 パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから、USBメモリをパソコンからはずす。

USBメモリから本機に音楽ファイルを取込むには

1 USBメモリを本機の (USB)端子に接続する。

2 本体のWM-PORT/USB→HDD取込みボタンを押す。

3 ↑/↓ボタンを押して「実行します」を選び、決定ボタンを押す。

音楽ファイルの取込みが始まります。
取込みが終了すると、USBメモリ内の「MUSICTRANSFER」フォルダが自動的に消去されます。一度にたくさんの音楽ファイルを本機に取込む場合、「実行します」が表示されるまでに時間がかかることがあります。

取込みを停止するには

■ボタンを押します。または手順3で「中止します」を選びます。
途中で取込みを停止した場合、「MUSICTRANSFER」フォルダ内のHDDに取込んでいない音楽ファイルは、そのままUSBメモリに残ります。次に取込むときは、取込みを停止した音楽ファイルから取込みが始まります。

ヒント

タイトル情報は、パソコンでつけた名前のままHDDに保存されます。ただし、パソコン内の音楽ファイルのタイトルのつけかたによっては、HDDの音楽ファイルに正しく反映されない場合があります。例えば、複数のアーティストで構成されたアルバムを本機に取込んだ場合、HDDには「(USB)」というアーティスト名で取込まれる場合があります。

例： 複数のアーティストで構成されたアルバム(「2009Best」)を本機へ取込んだ場合

【パソコン内のデータ階層】

アーティスト階層	アルバム階層	トラック階層
Various Artists	2009Best	Leaves
		Harvest
		⋮

本機へ取込み

【本機へ取込み後のデータ階層】

HDD内のデータ階層について詳しくは41ページをご覧ください。

！ご注意

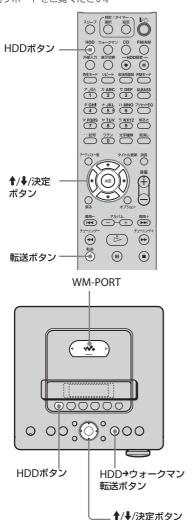
- 一度に取込めるのは、最大20,000曲です。
- 「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアで取込んだ音楽データのタイトル情報は、「Title Updater」ソフトウェアを使って編集することはできません。
- 「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアからUSBメモリへの音楽ファイル転送中、またはUSBメモリから本機への音楽ファイル取込み中は、USBメモリを抜かないでください。USBメモリ内のデータが壊れることがあります。
- USBメモリ内のデータ容量が大きい場合は、本機がUSBメモリを認識するまで時間がかかることがあります。
- 一度にたくさんの音楽ファイルを本機に取込む場合、取込みが終了するまで時間がかかることがあります。また、USBメモリでの使用容量と、本機に取込んだ際に実際に使用されたHDDの容量との間に誤差が生じる場合があります。
- USBメモリ内の「MUSICTRANSFER」フォルダの中には、「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアで転送したファイル以外のデータを保存しないでください。
- 「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアは、OpenMGを搭載しています。OpenMGを搭載している他のソフトウェアと同時に起動することはできません。
- 取り外し可能な外部記録メディア･機器に保存されている音楽ファイルを転送したい場合は、パソコンのHDDに音楽ファイルをコピーしてから「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアに取込んでください。
- 「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアの音楽ファイルリストの「ステータス」欄に「音楽ファイルなし」と表示された音楽ファイルを転送したい場合は、音楽ファイルを「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアの音楽ファイルリストから削除したあと、もう一度取込んでください。

- USBメモリから本機に音楽ファイルを転送したあと、USBメモリ内に「MUSICTRANSFER」フォルダが残っている場合があります。その場合は、「MUSICTRANSFER」フォルダ内にお客様のデータが入っていないことを確認した上で、「MUSICTRANSFER」フォルダを削除してください。
- 複数のアーティストで構成されたアルバムを本機に取込んだ場合、HDDには「(USB)」というアーティスト名で取込まれることがあります(33ページ)。アーティスト階層の「(USB)」に取込まれたアルバムが複数ある場合、それぞれのアルバムにアーティスト名をつけて、あとからアーティスト階層へ移動することはできません。

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアをアンインストールには

パソコンのドライブに「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアCD-ROMを入れ、メッセージに従って、アンインストールしてください。
または、パソコンの[スタート]メニューで、[コントロールパネル]を選んでから[プログラムと機能](Windows Vista)または[プログラムの追加と削除](Windows XP)をダブルクリックし、一覧から[かんたん音楽転送 -USBメモリ-]を選び、[削除]をクリックしてください。

HDDから転送する

HDDに保存されている音楽データを、“ウォークマン”に転送できます。“ウォークマン”の対応機種については、「本機と接続できる機器(“ウォークマン”、USBメモリなど)について」(95ページ)、または http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートをご覧ください。

“ウォークマン”用アタッチメントを取り付ける

本体上面に“ウォークマン”用アタッチメントを取り付けて、WM-PORT搭載の“ウォークマン”を挿して使うことができます。WM-PORTに直接“ウォークマン”を接続すると、WM-PORTが壊れるおそれがありますので、必ずアタッチメントをお使いください。この説明では本機に付属のタイプAアタッチメントをイラストに使用しています。

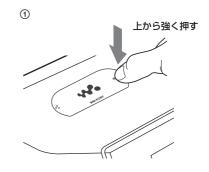
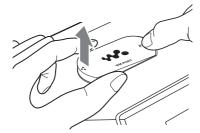
ヒント

お使いの“ウォークマン”にアタッチメントが付属されている場合は、“ウォークマン”に付属のアタッチメントをお使いください。

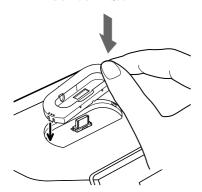
“ウォークマン”にアタッチメントが付属されていない場合や“ウォークマン”に付属のアタッチメントが本機のWM-PORTに装着できない場合は、本機に付属のアタッチメントで、お使いの“ウォークマン”に対応しているものをお使いください。本機に付属のアタッチメントに対応する“ウォークマン”について詳しくは95ページをご覧ください。

お使いの“ウォークマン”に対応するアタッチメントがない場合は、本体前面の(USB)端子に“ウォークマン”を接続して下さい。

1 本体の“ウォークマン”用アタッチメント取り付け部(WM-PORT)のカバーの「押す」部分を押して、カバーを取りはずす。

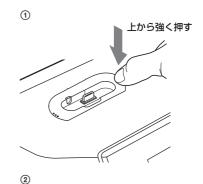
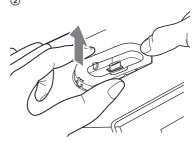
①

「押す」部分を押してカバーの左側を浮き上がらせて、取りはずしてください。
左側を押して右側を浮き上がらせて取りはずすこともできます。

2 “ウォークマン”用アタッチメントを下図のように装着する。

WM-PORT側の穴とアタッチメントのツメを合わせて装着してください。
お使いの“ウォークマン”によって、アタッチメントの形状が異なる場合があります。

“ウォークマン”用アタッチメントの取りはずしかたについて

アタッチメントの「∘∘∘」部分（左端または右端）を上から押して、反対の端を浮き上がらせて取りはずしてください。

①

②

“ウォークマン”に転送する

1 “ウォークマン”を接続する。

次のいずれかの方法で接続します。

- 本体上面のWM-PORTに接続する：
  WM-PORT搭載の“ウォークマン”を接続します。“ウォークマン”はWM-PORTの奥までしっかり差し込んでください。
- 本体前面の（USB）端子に接続する：
  “ウォークマン”を直接（USB）端子に、または“ウォークマン”に付属のUSBケーブルを使って接続します。

接続のしかたについては、“ウォークマン”の取扱説明書もあわせてご覧ください。

WM-PORTと(USB)端子両方に“ウォークマン”が接続されている場合、WM-PORT側の“ウォークマン”が優先的に認識されます。(USB)端子側の“ウォークマン”に転送する場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。

!ご注意

- “ウォークマン”がデータベース更新中のときは、本機に“ウォークマン”を接続しないでください。
- 本機が“ウォークマン”を認識するまで時間がかかることがあります。

2 HDDボタンを押してHDDファンクションにする。

3 転送したいアルバムまたは曲などを表示させる。

4 転送ボタン(本体ではHDD➔ウォークマン転送ボタン)を押す。

転送待機状態になります。

MEGA BASS WM-PORT
HDD 1/5
ウォークマンへ転送
▶HDD STYLE

5 ⬆/⬇ボタンを押して転送したい項目を選ぶ。

- 選んだアルバム内の全曲を転送する場合:「アルバム内全曲」を選ぶ。
- 選んだ曲のみを転送する場合:転送したい曲を選ぶ。

6 決定ボタンを押す。

転送が始まります。

転送を途中で止めるには

■ボタンを押します。
転送が止まるまでに時間がかかることがあります。

“ウォークマン”に転送した曲を削除するには

本機から“ウォークマン”に転送した曲を削除するときは、本機に“ウォークマン”を接続して削除してください(39ページ)。

“ウォークマン”に転送した曲のタイトル情報について

本機から“ウォークマン”に曲を転送すると、“ウォークマン”で表示されるタイトルは次のようになります。

HDDへの録音／取込み元の音源	“ウォークマン”で表示されるタイトル
CD	再生中に表示切換ボタンを押して表示されるタイトル
USBメモリ*1	パソコンでつけたタイトル*2
FM/AM	本機で表示されるタイトル
外部機器	本機で表示されるタイトル

*1 パソコンに保存されていた音楽データで、「かんたん音楽転送」ソフトウェアを使ってHDDに取込んだもの。

*2 パソコン内の音楽ファイルのタイトルのつけかたによっては、HDDに取込んだ音楽ファイルと、“ウォークマン”に転送した音楽ファイルに、正しく反映されないことがあります。

CDやUSBメモリから録音／取込みした曲のタイトルを本機の名前編集機能を使って編集しても、編集したタイトルは“ウォークマン”側で表示されません。タイトル情報の編集について詳しくは、「本機のタイトル情報について」(52ページ)をご覧ください。

!ご注意

- “ウォークマン”への音楽転送中は、“ウォークマン”を本機から抜かないでください。“ウォークマン”内のデータが壊れる場合があります。
- USBハブを介して、本機と“ウォークマン”を接続しないでください。
- WM-PORTと(USB)端子両方に“ウォークマン”が接続されている場合、WM-PORT側の“ウォークマン”が優先的に認識されます。(USB)端子側の“ウォークマン”に転送する場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。
- “ウォークマン”に本機から音楽を転送すると、“ウォークマン”はSimple Modeになり、イニシャルサーチなどのインテリジェント機能が制限されます。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

お好みの曲だけを転送するには

再生モードをプログラムモードにして、プログラム登録した曲のみを“ウォークマン”に転送することができます。転送前にお好みの曲をプログラムしてください(50ページ)。

1 **HDDボタンを押してHDDファンクションにする。**

2 **「好きな順に曲を聞く(プログラム再生」(50ページ)の手順1 ～ 4を行って、お好みの曲をプログラムする。**

3 **本機が停止している状態で転送ボタン(本体ではHDD➔ウォークマン転送ボタン)を押す。**

4 **⬆/⬇ボタンを押して「すべての登録曲」を選び、決定ボタンを押す。**

転送が始まります。

ご注意

“ウォークマン”に転送した曲は、“ウォークマン”の再生順ルールに従って再生されるため、本機でプログラムした順番では再生されません。

“ウォークマン”に転送するときの空き容量の目安

曲の再生時間	必要な容量(128 kbpsの曲の場合)	必要な容量(256 kbpsの曲の場合)
5分	約5MB	約10MB
15分	約14MB	約28MB
30分	約28MB	約56MB

“ウォークマン”の空き容量を確認するには、ウォークマンボタンを押してウォークマンファンクションにし、“ウォークマン”が停止中に表示切換ボタンを押してください(47ページ)。

ヒント

本機の電源が入っているときに、WM-PORTや(USB)端子に“ウォークマン”を接続すると、“ウォークマン”を充電することができます。WM-PORTと(USB)端子両方に“ウォークマン”が接続されている場合、WM-PORT側の“ウォークマン”が充電されます。(USB)端子側の“ウォークマン”を充電したい場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。

“ウォークマン”の曲を削除する

“ウォークマン”に入っている曲を、本機で削除することができます。

！ご注意

- 削除が終了するまでは、“ウォークマン”を本機から抜いたり、本機の電源を切らないでください。
- ドラッグ＆ドロップによるファイル転送に対応した“ウォークマン”で、ドラッグ＆ドロップで“ウォークマン”に転送した曲は、本機では認識されません。

1 削除したい曲が入っている“ウォークマン”をWM-PORTまたは(USB)端子につなぐ。

2 ウォークマンボタンを押してウォークマンファンクションにする。

3 オプションボタンを押す。

4 ↑/↓ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。

削除待機状態になります。

5 ↑/↓/←/→ボタンを押して削除する対象を選び、決定ボタンを押す。

- “ウォークマン”内の全曲を削除する場合：
「すべてのアルバム」を選ぶ。
- アルバムを削除する場合：
削除したいアルバムを選び、「アルバム内全曲」を選ぶ。
- 1曲のみを削除する場合：
削除したい曲を選ぶ。

6 ↑/↓ボタンを押して「実行します」を選び、決定ボタンを押す。

1つ前の操作に戻るには

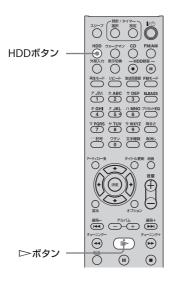
戻るボタンを押します。
手順6で「中止します」を選ぶと、手順5の状態に戻ります。

削除を中止するには

■ボタンを押します。

！ご注意

“ウォークマン”の曲を削除すると、“ウォークマン”はSimple Modeになり、イニシャルサーチなどのインテリジェント機能が制限されます。詳しくは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。

HDDを再生する

1 HDDボタンを押してHDDファンクションにする。

2 ▷ボタンを押す。

曲の再生が始まります。

最後に再生/録音した曲が再生されます。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に❙◀◀/▶▶❙ボタンを押して曲を選ぶ。
曲を選んで再生する	トラック階層（41ページ）で⬆/⬇ボタンを押して曲を選ぶ。または曲番の数字を数字ボタン*1で押したあと、決定ボタンを押す。
アルバムを選ぶ	アルバム＋またはアルバム－ボタンを押してアルバムを選ぶ。
表示を切り換える	表示切換ボタンを繰り返し押す*2。

*1 10曲目以降の曲を選ぶときは、数字ボタンを順に押します。
例：曲番15の場合、「1」→「5」を押す。

*2 表示切換ボタンを押して表示される情報は、本機の状態によって異なります。停止中はHDDの空き容量、時計表示などが表示され、再生中はアーティスト名やアルバム名、曲名のID3タグ情報、時計表示などが表示されます。

ヒント

表示される曲名、アルバム名などのタイトル情報が間違っている場合は、本機の名前編集機能や「Title Updater」ソフトウェアを使って修正することができます。

タイトル情報の取得、編集について詳しくは、「本機のタイトル情報について」（52ページ）をご覧ください。

！ご注意

再生中に表示切換ボタンを押して表示されるタイトル情報（ID3タグ情報）は、本機では編集できません。

HDD内のデータの構成を確認する

ここでは、HDD内のデータの階層と項目の選びかたを説明します。
以下で表示されるアーティスト名、アルバム名、曲名（トラック名）は、上記のフォルダ名、ファイル名になります。

第1階層（アーティスト階層）

電源を入れHDDファンクションにすると、HDDに保存されているアーティストの一覧が表示されます（再生モードがコンティニュー再生のときのみ）。
⬆/⬇ボタンを押してお好みのアーティストを選びます。

アーティストアイコン

➡ボタンまたは決定ボタンを押す。 ⬅ボタンまたは戻るボタンを押す。

第2階層（アルバム階層）

第1階層で選んだアーティストのアルバムの一覧が表示されます。
⬆/⬇ボタンを押してお好みのアルバムを選びます。

アルバムアイコン

➡ボタンまたは決定ボタンを押す。 ⬅ボタンまたは戻るボタンを押す。

第3階層（トラック階層）

第2階層で選んだアルバム内の曲が表示されます。
⬆/⬇ボタンを押してお好みの曲を選びます。

トラックアイコン

曲を選んで決定ボタンを押すと選んだ曲の再生が始まります。再生中に戻るボタンを押すと、トラック階層を表示できます。

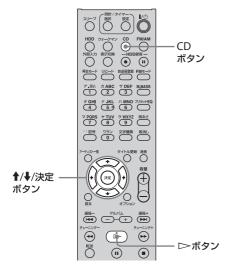
ヒント

- 上記で表示されるアーティスト名、アルバム名、曲名（トラック名）を編集して、名前を変更することができます（55ページ）。
- 再生中に表示切換ボタンを押すと、各曲が持っているID3タグ情報を表示することができます。再生中に表示切換ボタンを押して表示されるタイトル情報（ID3タグ情報）は、本機では編集できません。

CDを再生する

音楽CDやCD-R/RWディスク(音楽ファイル)を聞くことができます。再生可能なCDについて詳しくは、92ページをご覧ください。

!ご注意

MP3ディスクは再生できません。MP3ディスクを再生すると、無音のまま再生が始まり、音を聞くことはできません。

1 CDボタンを押してCDファンクションにし、本体の⏏ボタンを押してCDトレイを開け、ディスクを入れる。

8 cm CDは、トレイ中央のくぼみに合わせて入れてください。

2 もう一度⏏ボタンを押してトレイを閉める。

本機のデータベースから自動的にタイトル情報を検索して表示します。

- 1枚のCDに対して複数のタイトル情報がある場合は、↑/↓ボタンを押してタイトルを選び、決定ボタンを押してください。
- 正しいタイトル情報がない場合は、↑/↓ボタンを押して「該当なし」を選び、決定ボタンを押してください。
- タイトル情報がない場合は、タイトル情報の検索結果は表示されません。そのまま手順3へ進んでください。

!ご注意

CDトレイを手で押して閉めないでください。故障の原因となります。

3 ▷ボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	再生中に❙◀◀/▶▶❙ボタンを押して曲を選ぶ。
数字ボタンを使って曲を選ぶ	曲番の数字ボタンを押してから決定ボタンを押す*1。
ディスクを取り出す	本体の⏏ボタンを押す。
表示を切り換える	表示切換ボタンを繰り返し押す*2。

*1 10曲目以降の曲を選ぶときは、数字ボタンを順に押します。
例：曲番15の場合、「1」→「5」を押す。

*2 表示切換ボタンを押して表示される情報は、本機の状態によって異なります。停止中は通常表示と時計表示が切り替わり、再生中は曲の経過時間や曲の残り時間、ディスクの残り時間、アーティスト名、アルバム名、曲名、時計表示などが表示されます。

！ご注意

- シャッフル再生、プログラム再生中はディスクの残り時間は表示されません。
- 本機のデータベースは、2009年5月時点の楽曲情報を搭載しています。これ以降に発売された楽曲については、本機のデータベースに情報がないため、タイトル情報の検索結果が表示されない、または正しいタイトル情報が表示されません。

タイトル情報を手動で取得するには

CDを入れると、自動的にタイトル情報が取得されますが、手動でタイトル情報を取得することもできます。

1 停止中に、オプションボタンを押す。

オプションメニューが表示されます。

2 ⬆/⬇ボタンを押して「CD情報検索」を選び、決定ボタンを押す。

「Gracenote Databaseにアクセスしています」と表示されます。
タイトル情報を検索後、タイトル情報検索結果画面が表示されます。

- 1枚のCDに対して複数のタイトル情報がある場合は、⬆/⬇ボタンを押してタイトルを選び、決定ボタンを押してください。
- 正しいタイトル情報がない場合は、⬆/⬇ボタンを押して「該当なし」を選び、決定ボタンを押してください。
- タイトル情報がない場合は、タイトル情報の検索結果は表示されません。

3 検索結果を確認し、決定ボタンを押す。

タイトル情報が取得されます。

！ご注意

本機のデータベースは、2009年5月時点の楽曲情報を搭載しています。これ以降に発売された楽曲については、本機のデータベースに情報がないため、タイトル情報の検索結果が表示されない、または正しいタイトル情報が表示されません。
間違ったタイトル情報を選んでしまった場合は、「タイトル情報を手動で取得するには」（このページ）を行って正しいタイトル情報を選んでください。
録音後に名前を編集するには、次の方法で名前をつけてください。

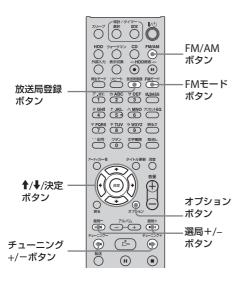
- タイトル情報がない場合、または本機のデータベースに正しいタイトル情報がなく「該当なし」を選んで録音した場合：
本機の名前編集機能を使うか（55ページ）、「Title Updater」ソフトウェアを使って最新のタイトル情報を取得してください（58ページ）。
- 間違ったタイトル情報を取得して録音してしまった場合：
「Title Updater」ソフトウェアを使って最新のタイトル情報を取得してください（58ページ）。

タイトル情報の取得、編集について詳しくは、「本機のタイトル情報について」（52ページ）をご覧ください。

ラジオを聞く

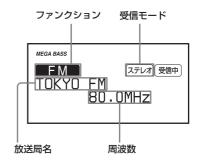
オートチューニングやマニュアルチューニングで放送局を受信できます。放送局を登録すると、登録番号を選ぶだけで受信できます。
ラジオを受信する前に、アンテナが正しく接続されているか確認してください。アンテナの接続方法は、「接続する」（20 ～ 21ページ）をご覧ください。

！ご注意

受信状態が悪いときは、アンテナの向きや設置場所を変えてみてください（窓の近くに置くなど）。

ラジオを聞く

1 **FM/AMボタンを繰り返し押して「FM」または「AM」を選ぶ。**

2 **チューニング＋/－ボタンを押したままにし、表示窓の周波数表示の数字が動き始めたら指を離す。**

放送局を受信すると自動的に止まり、「受信中」と「ステレオ」（FMステレオ放送のときのみ）が点灯します（オートチューニング）。
受信できなかったときは、チューニング＋/－ボタンを繰り返し押して、聞きたい放送局の周波数に合わせます（マニュアルチューニング）。
地域設定を行っていると、画面に放送局名が表示されます（25ページ）。

FMステレオ放送を受信中、雑音が多いときは

FMモードボタンを繰り返し押して、「モノラル」を点灯させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。

放送局を登録する

お好みの放送局を登録しておくと、次からは登録した番号を選ぶだけで選局することができます。FM放送は20局まで、AM放送は10局まで登録することができます。

1 登録したい放送局を受信する（44ページ）。

2 放送局登録ボタンを押す。

登録番号が点滅します。

3 選局＋/－ボタンを押して登録番号を選び、決定ボタンを押す。

放送局が登録されます。

4 手順1 ～ 3を繰り返して他の放送局を登録する。

停電になったり、電源コードを抜いても、登録された放送局は約1日保存されます。

登録した放送局を聞くには

1 FM/AMボタンを繰り返し押して「FM」または「AM」を選ぶ。

2 選局＋/－ボタンを押して聞きたい放送局の登録番号を選ぶ。

ヒント

数字ボタンで登録番号を選ぶこともできます。数字ボタンを押したあとに、決定ボタンを押します。
登録番号10以降を選ぶときは、数字ボタンを順に押します。
例：登録番号15の場合、「1」→「5」→ 決定ボタンを押す。

地域設定を変更する

1 FM/AMボタンを繰り返し押して「FM」または「AM」を選ぶ。

2 オプションボタンを押す。

オプションメニューに「地域設定」が表示されます。

3 決定ボタンを押す。

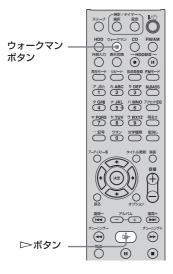
4 ↑/↓ボタンを押して本機をお使いの地域を選び、決定ボタンを押す。

各地域の放送局の一覧は、「放送局名一覧」（96ページ）をご覧ください。

“ウォークマン”を聞く

別売りの“ウォークマン”を本機に接続して“ウォークマン”の音楽を聞くことができます。本機で再生できるデータ形式は、MP3、WMA、AAC、ATRACです。“ウォークマン”の対応機種については、「本機と接続できる機器（“ウォークマン”、USBメモリなど）について」（95ページ）または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートをご覧ください。

！ご注意

ドラッグ＆ドロップによるファイル転送に対応した“ウォークマン”で、ドラッグ＆ドロップで“ウォークマン”に転送した曲は、本機では認識されません。

1 “ウォークマン”を接続する。

次のいずれかの方法で接続します。

- 本体上面のWM-PORTに接続する（35ページ）：
  WM-PORT搭載の“ウォークマン”を接続します。“ウォークマン”はWM-PORTの奥までしっかり差し込んでください。
- 本体前面の(USB)端子に接続する：
  “ウォークマン”を直接 (USB)端子に、または“ウォークマン”に付属のUSBケーブルを使って接続します。

WM-PORTと(USB)端子両方に“ウォークマン”が接続されている場合、WM-PORT側の“ウォークマン”が優先的に認識されます。(USB)端子側の“ウォークマン”を聞く場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。

！ご注意

- “ウォークマン”がデータベースを更新中のときは、本機の“ウォークマン”を接続しないでください。
- 本機が“ウォークマン”を認識するまで時間がかかることがあります。

2 ウォークマンボタンを押してウォークマンファンクションにする。

3 ボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める*1	■ボタンを押す。
一時停止する	❚❚ボタンを押す。もう一度押すか、▷ボタンを押すと、停止した場所から再生が始まります。
曲中の聞きたいところを探す	再生中に◀◀/▶▶ボタンを押し続け、聞きたいところで指を離す。
前後の曲を選ぶ	⏮/⏭ボタンを押して曲を選ぶ。
数字ボタンを使って曲を選ぶ	曲番の数字ボタンを押してから決定ボタンを押す*2。
アルバムを選ぶ	アルバム+/－ボタンを押してアルバムを選ぶ。
表示を切り換える	表示切換ボタンを繰り返し押す*3。

*1 次に▷ボタンを押して再生すると、前回停止した曲から再生が始まります。ただし、本機の電源を切ったあとに再生を始めると、先頭の曲から再生が始まります。

*2 10曲目以降の曲を選ぶときは、数字ボタンを順に押します。
例：曲番15の場合、「1」→「5」を押す。

*3 表示切換ボタンを押して表示される情報は、本機の状態によって異なります。停止中は"ウォークマン"の空き容量や時計表示などが表示され、再生中はアーティスト名やアルバム名、曲名、時計表示などが表示されます。

！ご注意

- "ウォークマン"を再生中は"ウォークマン"を本機から抜かないでください。"ウォークマン"内のデータが壊れる可能性があります。
- USBハブを介して、本機と"ウォークマン"を接続しないでください。
- 本機は"ウォークマン"の動作のすべてを保証するものではありません。
- 本機で表示する"ウォークマン"の空き容量は、実際の容量と異なる場合があります。

ヒント

本機の電源が入っているときに、WM-PORTやψ(USB)端子に"ウォークマン"を接続すると、"ウォークマン"を充電することができます。WM-PORTとψ(USB)端子両方に"ウォークマン"が接続されている場合、WM-PORT側の"ウォークマン"が充電されます。ψ(USB)端子側の"ウォークマン"を充電したい場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。

外部入力機器をつないで聞く

本体前面の外部入力端子に音声接続コード（別売り）をつないでMDプレーヤーなどポータブル機器の音を聞いたり、録音することができます。
本機の外部入力端子と別売りの機器のオーディオ出力端子を音声接続コード（別売り）でつなぎます。
つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。

1　外部入力機器を本機の外部入力端子につなぐ。

2　外部入力ボタンを押して外部入力ファンクションにする。

3　本機につないだ機器を再生する。

本機のスピーカーから音声が出力されます。
詳しくは、つないだ機器の取扱説明書をご覧ください。

シャッフル／リピート／プログラム再生

HDD、CD、"ウォークマン"の曲順を変えて再生（シャッフル）したり、1曲だけを繰り返し再生（リピート）したり、お好みの順番で再生することができます。

1 各ファンクションの停止中に、再生モードボタンを繰り返し押す。

ボタンを押すたびに再生モードが変わり、各モードの表示が点灯します。

■ HDDファンクション／ウォークマンファンクションの場合

再生モード／表示	動作
◆ コンティニュー再生／（なし）	HDDまたは"ウォークマン"の中の全曲を順に再生します。
アルバム再生／アルバム	選択されているアルバム内の全曲を順に再生します。
シャッフル再生／シャッフル	HDDまたは"ウォークマン"の中の全曲を順不同に再生します。
アルバムシャッフル再生／アルバム、シャッフル	選択されているアルバム内の曲を順不同に再生します。
プログラム再生／プログラム	プログラム登録された順に再生します（50ページ）。

（◆：お買い上げ時の設定）

■ CDファンクションの場合

再生モード／表示	動作
◆ コンティニュー再生／（なし）	CDの全曲を順に再生します。
シャッフル再生／シャッフル	CDの全曲を順不同に再生します。
プログラム再生／プログラム	プログラム登録された順に再生します（50ページ）。

（◆：お買い上げ時の設定）

2 ▷ボタンを押す。

選んだ再生モードで再生が始まります。

ヒント

オプションメニューを使って再生モードを設定することもできます。再生モードを設定するには、次の操作を行います。

① 各ファンクションの停止中に、オプションボタンを押す。
② ⬆/⬇ボタンを押して「再生モード」を選び、決定ボタンを押す。
③ ⬆/⬇ボタンを押してお好みの再生モードを選び、決定ボタンを押す。

リピートモードを設定する

選んだ再生モードで再生を繰り返します。

1 リピートボタンを繰り返し押してリピートモードを選ぶ。

ボタンを押すたびにリピートモードが変わり、各モードの表示が点灯します。

リピートモード／表示	動作
◆ リピートオフ／（なし）	リピート再生しません。
全曲リピート／リピート	選択中の再生モードで全曲を繰り返し再生します。
1曲リピート／リピート1	選択中の曲を繰り返し再生します。

（◆：お買い上げ時の設定）

ヒント

オプションメニューを使ってリピートモードを設定することもできます。リピートモードを設定するには、次の操作を行います。

① オプションボタンを押す。

② ↑/↓ボタンを押して「リピート」を選び、決定ボタンを押す。

③ ↑/↓ボタンを押してお好みのリピートモードを選び、決定ボタンを押す。

好きな順に曲を聞く（プログラム再生）

最大25曲までプログラムできます。

1 各ファンクションの停止中に、再生モードボタンを繰り返し押して「プログラム」を点灯させる。

2 ⏮/⏭ボタンを繰り返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ。

別のアルバムに入っている曲を選ぶときは、アルバム+/−ボタンでアルバムを選び、曲を選んでください。
アーティスト一覧ボタンを押して、曲を選ぶこともできます（51ページ）。

3 決定ボタンを押す。

選んだ曲がプログラム登録されます。

4 手順2、3を繰り返してプログラムを登録する。

5 ▷ボタンを押す。

プログラム再生が始まります。

プログラム再生を中止するには

停止中に、「プログラム」が消えるまで再生モードボタンを繰り返し押します。

プログラムを消すには

停止中に取消しボタンを押します。ボタンを押すたびに最後にプログラムした曲から消えます。

ご注意

HDDや"ウォークマン"内の曲の削除、編集をすると、プログラムした内容は削除されます。

曲を検索する

HDD内の曲をアーティスト名から検索することができます。

1 HDDボタンを押してHDDファンクションにする。

2 アーティスト一覧ボタンを押す。

HDD内に保存されているアーティストの頭文字の一覧が表示されます。

3 ↑/↓/←/→ボタンを押してお好みのアーティストの頭文字を選び、決定ボタンを押す。

選んだ頭文字のアーティストが表示されます。

4 ↑/↓ボタンを押してお好みのアーティストを選び、決定ボタンを押す。

選んだアーティストのアルバムの一覧(アルバム階層)が表示されます。

5 ↑/↓ボタンを押してお好みのアルバムを選び、決定ボタンを押す。

選んだアルバム内の曲(トラック階層)が表示されます。

6 ↑/↓ボタンを押してお好みの曲を選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

検索を中止するには

■ボタンを押します。

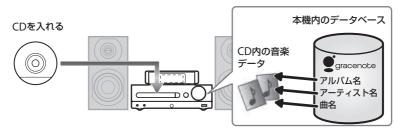
一つ前の階層に戻るには

戻るボタンを押します。

CD内の曲を検索するには

CDファンクションで戻るボタンを押すと、CD内の曲の一覧が表示されます。↑/↓ボタンを押して曲を選び、決定ボタンを押すと再生が始まります。

本機のタイトル情報について

本機は、Gracenote® Music Recognition Serviceが提供するCDのタイトル情報の一部を、本機内のデータベースに保持しています*。CDを入れると、このデータベースから自動的に曲のタイトル情報(アーティスト名、アルバム名、曲名)を検索して表示します。表示されたタイトル情報を選択して本機に曲を録音すると、このタイトル情報が曲に登録されます。

本機のデータベースは2009年5月までの楽曲のタイトル情報を保持しています。これ以降に発売された楽曲のタイトル情報は、本機のデータベースには登録されていません。この場合は、本機に搭載されている「Title Updater」ソフトウェアをお使いになると、パソコン上で最新のタイトル情報を取得することができます。

* Gracenote® Music Recognition Serviceによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。

タイトル情報の取得について

HDD内の楽曲にタイトルをつける方法は3つあります。

■ CDを入れた際に、本機のデータベースから取得する(42ページ)。

CDを入れたときに、本機に搭載されたデータベースからタイトル情報を検索します。自動的に取得するほかに、手動でタイトル情報の検索もできます(43ページ)。

■ 本機の名前編集機能を使う(55ページ)。

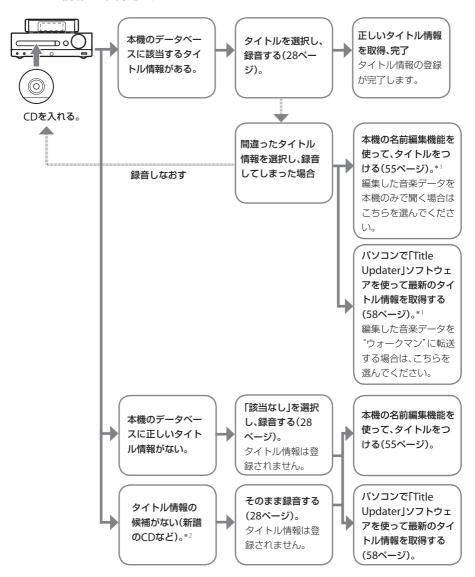
タイトルがついていない楽曲にタイトルをつけたり、取得したタイトル情報を編集することができます(本機では、ひらがな、カタカナ、英数字を入力することができます)。
タイトルを編集した楽曲を"ウォークマン"に転送する際は、ここで入力したタイトルが"ウォークマン"側で正しく表示されなくなりますので、ご注意ください。詳しくは「"ウォークマン"でタイトル情報が正しく表示されないときは」(54ページ)をご覧ください。

■ パソコンとUSBメモリを使う(「Title Updater」ソフトウェアを使う)(58ページ)。

パソコンをお持ちの場合は、本機に搭載されている「Title Updater」ソフトウェアを使って、最新のタイトル情報を取得することができます。タイトル情報をパソコン上で編集して登録することもできます。

!ご注意

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使って取込んだ音楽のタイトル情報(33ページ)や、ラジオや外部機器から録音したデータのタイトル情報(30ページ)は、本機の名前編集機能を使ってのみ編集することができます。

タイトル情報の取得方法について

*1 "ウォークマン"へ転送して音楽を聞く場合は、本機の名前編集機能ではなく、「Title Updater」ソフトウェアを使ってタイトル情報を取得、編集してください。間違ったタイトル情報を選択、登録してしまったあとに名前編集機能を使ってタイトルを編集しても、編集したタイトルは"ウォークマン"側では表示されません。パソコンをお使いにならない場合は、タイトル検索結果の一覧で「該当なし」を選び、録音しなおしてください。

*2 本機のデータベースは2009年5月までの楽曲のタイトル情報を保持しています。これ以降に発売された楽曲のタイトル情報は、本機のデータベースには登録されていません。

ヒント

- 「該当なし」を選んで録音した場合や、タイトル情報がなくそのまま録音した場合は、アーティスト名が「(CD)」という名前で録音されます。本機でタイトルを編集する際はHDDファンクションのアーティスト一覧で「(CD)」を選んでください。HDD内のデータ階層について詳しくは41ページをご覧ください。
- 一度に大量の音楽データを録音すると、データの取扱いが繁雑になることがありますので、こまめに録音、編集を行うことをおすすめします。

“ウォークマン”でタイトル情報が正しく表示されないときは

一度、本機のデータベースや「Title Updater」ソフトウェアを使ってタイトル情報を取得し、その後、名前編集機能を使ってタイトルを編集すると、“ウォークマン”側では編集したタイトル情報が表示されなくなります。この場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。

■ パソコンを使って編集する

「Title Updater」ソフトウェアを使って最新のタイトル情報を取得することができます(58ページ)。タイトル情報を再取得、または編集することもできます。

■ パソコンを使わずに編集する

CDを再度本体に入れ、タイトル情報検索結果の一覧で「該当なし」を選び、曲を録音しなおしてください(28ページ)。「該当なし」を選んで録音すると、タイトル情報が登録されずに録音されます。録音後、本機の名前編集機能を使って名前を編集してください(55ページ)。

名前を変更する(名前編集機能)

HDD内のアーティストやアルバム、曲(トラック)の名前を変更できます。本機では、ひらがな、カタカナ、英数字を入力することができます。

!ご注意

- 本機の名前編集機能では、ID3タグ情報は編集できません。(ID3タグ情報は、再生中に表示切換ボタンを押すと表示されます。)そのため、ID3タグ情報を持つ音楽データを、名前編集機能で編集後に"ウォークマン"へ転送しても、編集したタイトルは"ウォークマン"側では表示されません。タイトル情報の取得、編集について詳しくは、「本機のタイトル情報について」(52ページ)をご覧ください。
- 本機には、同一のアーティスト名を複数保存することはできません。例えば、「AAA」というアーティスト名がすでにHDDに保存されている場合、名前編集機能を使って「AAA」というアーティスト名をつけることはできません。
  すでにHDDに保存されているアーティスト名と同じ名前をつけたい場合は、「Title Updater」ソフトウェアを使ってアーティスト名を編集し、再度タイトル情報を取込んでください。
- 本機内のデータの名前は五十音順に並べられているため、名前を変更すると、変更前とは順番が変わります。

1 HDDボタンを押してHDDファンクションにし、オプションボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンを押して「編集」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓/←/→ボタンを押して変更する項目を選び、決定ボタンを押す。

以下の操作を行ってください。

- アーティスト名を変更する場合:
  名前を変更したいアーティストを選び、「アーティスト?」を選ぶ。
- アルバム名を変更する場合:
  名前を変更したいアルバムのアーティストを選び、アルバムを選び、「アルバム?」を選ぶ。
- 曲名を変更する場合:
  名前を変更したい曲のアーティストを選び、その曲が含まれるアルバムを選び、曲を選ぶ。

4 名前を入力する。

文字の入力のしかたについては「文字を入力する」(56ページ)をご覧ください。
本機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、英数字のみです。漢字を入力することはできません。また、ひらがな入力したものを漢字変換することもできません。

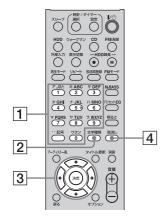
5 決定ボタンを押す。

名前の編集を中止するには

■ボタンを押します。

文字を入力する

！ご注意

本機で入力できる文字は、カタカナ、ひらがな、英数字のみです。漢字を入力することはできません。また、ひらがな入力したものを漢字変換することもできません。

1 **数字／文字入力ボタン**

入力したい文字が割り当てられているボタンを繰り返し押すと、希望の文字を表示します。

2 **文字種類ボタン***

入力する文字の種類を選びます（漢字の入力はできません）。

ボタンを押すたびに以下のように切り換わります。

［全カナ］→［全かな］→［全英］→［全数］→［半カナ］→［半英］→［半数］→［全カナ］ …

* 入力できる文字の種類は、画面によって異なります。

3 **↑/↓/←/→/決定ボタン**

- ↑/↓ボタン
  ↑ボタンを押すとカーソルが入力した文の先頭に移動し、↓ボタンを押すとカーソルが入力した文の最後に移動します。
- ←/→ボタン
  カーソルを動かします。
- 決定ボタン
  入力した文字列を登録します。

4 **取消しボタン**

文字を削除します。

文字を入力する

「名前を変更する（名前編集機能）」（55ページ）の手順1 ～ 3のあとに、以下の操作を行います。

1 文字種類ボタンを繰り返し押して、入力する文字の種類を選ぶ。

2 数字／文字入力ボタンを繰り返し押して、文字を選ぶ。

スペースを入力したい場合は、数字ボタンの0を繰り返し押してスペースを表示させてください。

！ご注意

文字の種類が「全数」、「半数」の場合は、スペースを入力することはできません。

3 →ボタンを押してカーソルを右に動かす。

4 手順1 ～ 3を繰り返して文字を入力する。

5 決定ボタンを押す。

入力した文字が登録されます。

その他の操作

こんなときは	操作
前の状態に戻す	戻るボタンを押す。
カーソルを移動する	⬆/⬇/⬅/➡ボタンを押す。
大文字または小文字を入力する(「や」「ゃ」、「A」「a」など)	文字種類ボタンを繰り返し押す。または入力したい文字(カタカナ／英字)が割り当てられているボタンを繰り返し押す。
濁点文字または半濁点文字を入力する(「が」、「ぱ」など)	数字／文字入力ボタンの゛゜記号ボタンを繰り返し押す。
スペースを入力する	数字／文字入力ボタンの0ボタンを繰り返し押す*。

* 文字の種類が「全数」、「半数」の場合は、スペースを入力することはできません。

入力できる文字について

文字種類ボタンを押して文字の種類を選び、数字／文字入力ボタンを繰り返し押すと、以下のように文字が切り替わります。

全カナ、半カナ

「半カナ」の場合は半角文字になります。

数字／文字入力ボタン	入力できる文字
1	アイウエオァィゥェォ
2	カキクケコ
3	サシスセソ
4	タチツテトッ
5	ナニヌネノ
6	ハヒフヘホ
7	マミムメモ
8	ヤユヨャュョ
9	ラリルレロ
0	ワヲンヮ␣(スペース)
゛゜記号*	゛゜、。ー・！？「」

「半カナ」を選んでいる場合、次の文字は表示されません。
ヮ、？

* ゛゜記号ボタンを押して表示される内容は、入力している文字によって異なります。

全かな

数字／文字入力ボタン	入力できる文字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ
2	かきくけこ
3	さしすせそ
4	たちつてとっ
5	なにぬねの
6	はひふへほ
7	まみむめも
8	やゆよゃゅょ
9	らりるれろ
0	わをんゎ␣(スペース)
゛゜記号*	゛゜、。ー・！？「」

* ゛゜記号ボタンを押して表示される内容は、入力している文字によって異なります。

全英、半英

「半英」の場合は半角文字になります。

数字／文字入力ボタン	入力できる文字
1	. @ / : − ~ = _ + ^ 1
2	a b c A B C 2
3	d e f D E F 3
4	g h i G H I 4
5	j k l J K L 5
6	m n o M N O 6
7	p q r s P Q R S 7
8	t u v T U V 8
9	w x y z W X Y Z 9
0	␣(スペース) 0
゛゜記号	! ? , ; ` ‘ ’ “ ” ( ) [ ] { } # $ % & ¥

「全英」を選んでいる場合、「`」は表示されません。
「半英」を選んでいる場合、次の文字は表示されません。
/、:、?、‘、“、”、¥

全数、半数

入力したい数字の数字／文字入力ボタンを押します。
「全数」、「半数」を選んでいる場合は、スペースを入力することはできません。

！ご注意

アーティスト名やアルバム名、曲名の先頭にスペースやピリオドがある場合、またはアーティスト名やアルバム名の最後にスペースやピリオドがある場合、それらのスペースやピリオドはアンダースコア(_)に置き換えられて表示されます。

パソコンで最新のタイトル情報を取得する（Title Updater）

本機内のデータベースにタイトル情報がない場合や、取得したタイトル情報が正しくない場合は、本機に内蔵のソフトウェア「Title Updater」を使って最新のタイトル情報を取得できます。USBメモリを使って行います。対応のUSBメモリについては、「本機と接続できる機器（“ウォークマン”、USBメモリなど）について」（95ページ）または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートをご覧ください。

ヒント

USBメモリのかわりに“ウォークマン”もお使いいただけます。“ウォークマン”をお使いになる場合は、以下の点にご注意ください。

- WM-PORTと(USB)端子両方に“ウォークマン”またはUSBメモリが接続されている場合、WM-PORT側の“ウォークマン”が優先的に認識されます。(USB)端子側の機器をお使いになる場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。
- パソコンに“ウォークマン”を接続して、パソコンから“ウォークマン”内を操作するときは、[TitleUpdater.exe]以外のフォルダ、ファイルを操作しないでください。

！ご注意

- 「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使って取込んだ音楽のタイトル情報（33ページ）や、ラジオや外部機器から録音したデータのタイトル情報（30ページ）は、「Title Updater」ソフトウェアを使ってタイトルの更新を行うことはできません。
- ポケットビットを使って「Title Updater」ソフトウェアを使用するときは、必ずVirtual Expander（ポケットビット用ソフトウェア）を終了してください。

「Title Updater」ソフトウェアについて

本機は「Title Updater」ソフトウェアを搭載しています。本機内のデータベースからタイトル情報を取得できなかった音楽CDに対して、パソコン上でオンライン検索を行い、タイトル情報を取得するためのソフトウェアです。オンライン検索には、Gracenote® Music Recognition Serviceが提供するデータベースサーバを利用します。

最新のタイトル情報を取得するには

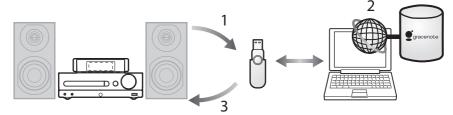
1 **タイトル情報がないデータをUSBメモリに書き出す。**

➡ 「アルバム情報をUSBメモリに書き出す」（59ページ）

2 **USBメモリ内のデータに最新のタイトル情報を取得する。**

➡ 「パソコンでタイトル情報を検索する」（60ページ）

3 **タイトル情報を本機に取込む。**

➡ 「最新のタイトル情報をHDDに取込む」（62ページ）

「Title Updater」ソフトウェアをお使いになる前にご確認ください

パソコンで「Title Updater」ソフトウェアをお使いになるために必要なパソコンの動作環境については、94ページをご覧ください。

インターネット接続についてのご注意

- お使いのパソコンがインターネットに接続されていないと、タイトル情報を取得できません。
- お使いのインターネット接続環境によっては、正常にオンライン検索ができない場合があります。
- インターネットに接続できない場合は、ネットワーク接続設定を行ってください(63ページ)。

Gracenote® Music Recognition Serviceについてのご注意

- Gracenote® Music Recognition Serviceによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。
- 本機に内蔵されているデータベースは、2009年5月時点のものです。

!ご注意

アルバム情報の書き出し中、または取込み中は、USBメモリを本機から抜かないでください。USBメモリ内のデータが壊れることがあります。

ヒント

説明にはWindows Vistaの画面を使用しています。

アルバム情報をUSBメモリに書き出す

ここでは本機のデータベースでタイトル情報が取得できなかったアルバムの情報を、USBメモリに保存する方法を説明します。この操作を初めて行うときに、「Title Updater」ソフトウェアも自動的にUSBメモリに書き出されます。

1 USBメモリを本機の ψ(USB)端子に接続する。

2 HDDボタンを押してHDDファンクションにし、タイトル更新ボタンを押す。

タイトル更新メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンを押して「未タイトル情報を✎へ」を選び、決定ボタンを押す。

```
MEGA BASS                    USB
HDD
タイトル更新
▶未タイトル情報を✎へ
  タイトル情報を本機へ
```

4 「未タイトル情報を✎へ」と表示されるので、↑/↓ボタンを押して「送る」を選び、決定ボタンを押す。

```
MEGA BASS                    USB
HDD
未タイトル情報を✎へ
▶送る
  追加選択して送る
```

名前がついていなかったアルバム情報(“export.dat”)がUSBメモリに書き出されます。同時に「Title Updater」ソフトウェア(“TitleUpdater.exe”)も自動的に書き出されます。

5 「完了しました」と表示されたら、USBメモリを本機から取りはずす。

パソコンでタイトル情報を検索する

1 USBメモリをパソコンのUSB端子に接続する。

2 USBメモリのルートフォルダにある[TitleUpdater.exe]をダブルクリックする。

「Title Updater」ソフトウェアが起動します。
アルバム情報ファイル“export.dat”がUSBメモリのルートフォルダにある場合は、検索画面が開きます。手順7へ進んでください。
アルバム情報ファイル“export.dat”がUSBメモリのルートフォルダにない場合は、アルバム情報指定画面が開きます。

3 [参照...]をクリックする。

ファイル選択画面が表示されます。

4 USBメモリ内の[export.dat]ファイルが入っているフォルダを開き、その中にある[export.dat]ファイルを選択する。

5 [開く]をクリックする。

選択したファイルがアルバム情報選択画面に表示されます。

6 [次へ >>]をクリックする。

検索画面が表示されます。

7 [検索]をクリックする。

オンライン検索を開始します。

検索できたものから順に、アルバム名とアーティスト名が表示されます。
検索を中止したい時は[キャンセル]をクリックし、確認メッセージが出たら[OK]をクリックします。[OK]をクリックした時点で検索が中止されます。

アルバムの選択画面が表示された場合は
アルバムの選択画面は、オンライン検索でアルバム情報の候補が複数あった場合に表示されます。取得したいアルバム情報をその中から選んでください。
アルバムを選んで[タイトル情報]をクリックすると、選んだアルバムのタイトル情報を確認・編集することができます(「タイトル情報を見る、編集する」(このページ))。

検索が終了すると、タイトル情報を取得したアルバムの一覧が表示されます。タイトルを取得したくないアルバム情報がある場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークをはずしてください。
アルバムを選んで[タイトル情報]をクリックすると、選んだアルバムのタイトル情報を確認・編集することができます(「タイトル情報を見る、編集する」(このページ))。

8 [保存]をクリックしてタイトル情報をUSBメモリに保存する。

取得したタイトル情報は"import.dat"ファイルとしてUSBメモリに保存されます。

9 [終了]をクリックして「Title Updater」ソフトウェアを終了する。

10 パソコンで「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから、USBメモリをパソコンからはずす。

!ご注意

- Gracenote® Music Recognition Serviceのデータベースに接続できない場合は、「パソコンのネットワーク接続を設定する」(63ページ)を参照し、ネットワーク接続設定を行ってください。
- 保存が完了するまで[終了]をクリックしないでください。
- 保存後、再度[検索]をクリックすると、もう一度オンライン検索が始まり、保存したファイルが消えてしまいます。その場合は、検索終了後に再度[保存]をクリックして"import.dat"ファイルをUSBメモリに保存してください。
- オンライン検索で取得したタイトル情報すべてが、実際のタイトル情報と合致するわけではありません。

タイトル情報を見る、編集する

検索したアルバム情報の詳細(曲名やアルバム名など)を確認、編集することができます。

1 「パソコンでタイトル情報を検索する」の手順1 ～ 7を行う(60ページ)。

2 検索されたアルバムの一覧が表示されたら、情報を見たいアルバムを選び、[タイトル情報]をクリックする。

選んだアルバムのタイトル情報画面が表示されます。

3 タイトル情報を編集する。

アルバム名またはアーティスト名を編集する場合は、画面上のアルバム名、アーティスト名のボックスをクリックして編集してください。
画面下部分の曲一覧のタイトル（曲名）やアーティスト名を編集するには、まずタイトル（曲名）またはアーティスト名を選び、再度タイトル（曲名）またはアーティスト名部分をクリックして編集してください。
1つの名前は56文字まで入力することができます。
名前の編集を行わない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

4 編集が終わったら、[更新]をクリックする。

タイトル情報が更新され、編集した内容が手順2のアルバムの一覧に反映されます。

ヒント

アルバムの選択画面で[タイトル情報]をクリックしても、タイトル情報を編集することができます。

！ご注意

- タイトル情報画面上部の「アーティスト名」を変更すると、曲一覧（画面下部）の全てのアーティスト名も自動的に変更されます。
- タイトル情報の編集を最初からやり直す場合は、[キャンセル]をクリックしてタイトル情報画面を閉じてください。その後、アルバムの一覧画面から再度[タイトル情報]をクリックしてタイトル情報を編集してください。
- タイトル情報の編集画面で、タイトルを削除したまま[更新]をクリックすると、削除する前の元のタイトルが取得されます。タイトルを消去したまま、タイトル情報の取得はできません。

最新のタイトル情報をHDDに取込む

1 USBメモリを本機のψ（USB）端子に接続する。

2 HDDボタンを押してHDDファンクションにし、タイトル更新ボタンを押す。

タイトル更新メニューが表示されます。

3 ⬆/⬇ボタンを押して「タイトル情報を本機へ」を選び、決定ボタンを押す。

MEGA BASS USB
HDD
タイトル更新
　未タイトル情報を✎へ
▶タイトル情報を本機へ

取得した情報をUSBメモリから本機に取込みます。新しいタイトル情報が登録されます。

4 「完了しました」と表示されたら、USBメモリを本機からはずす。

タイトル情報を取得しなおす

本機のデータベースから自動的に取得されたタイトル情報が間違っていた場合、パソコン上でオンライン検索を行って、名前を付け直すことができます。以下の手順に従って名前を付け直してください。詳しい操作方法は、各参照ページをご覧ください。

1 取得しなおしたいアルバム情報や曲情報をUSBメモリに取込む。

USBメモリを本機の(USB)端子に接続してください。

HDDファンクションでタイトル更新ボタンを押し、「未タイトル情報を へ」－「追加選択して送る」を選び、名前を取得しなおしたいアルバムや曲を選びます（「アルバム情報をUSBメモリに書き出す」（59ページ））。

選択したアルバム情報や曲情報が書き出されます。

ヒント

タイトル情報が取得されていないアルバム情報も同時に書き出されます。

2 パソコンでタイトル情報を検索する。

「パソコンでタイトル情報を検索する」の手順1 ～ 10を行ってください（60 ～ 61ページ）。

タイトル情報が検索できなかった場合や、間違ったタイトル情報しか見つからなかった場合は、「タイトル情報を見る、編集する」の手順1 ～ 4を行って、タイトルを編集してください（61 ～ 62ページ）。

3 最新のタイトル情報を取込む。

「最新のタイトル情報をHDDに取込む」の手順1 ～ 4を行ってください（62ページ）。

新しいタイトル情報が登録されます。

「Title Updater」ソフトウェアをアンインストールするには

本機からアルバム情報を書き出すと、“Title Updater.exe”と“export.dat”ファイルがUSBメモリのルートフォルダに作られます。パソコンで“Title Updater.exe”を実行すると、“import.dat”、“ecddb.reg”、“Cupd.ini”ファイルがUSBメモリのルートフォルダに作られます。USBメモリから「Title Updater」ソフトウェアを完全に削除するには、これら5つのファイルをすべて削除してください（“Cupd.ini”ファイルは作られない場合もあります）。

パソコンのネットワーク接続を設定する

1 USBメモリのルートフォルダにある[TitleUpdate.exe]をダブルクリックする。

「Title Updater」ソフトウェアが起動します。

2 [接続設定]をクリックする。

ネットワーク接続設定画面が表示されます。

Internet Explorerをお使いの場合
[Internet Explorerの設定を使用する]を
チェックし、[設定]をクリックしてください。
Internet Explorerの設定を使用してオンライン検索を行います(これ以上の設定は必要ありません)。

その他のブラウザをお使いの場合
[Internet Explorerの設定を使用する]の
チェックをはずし、次のいずれかを行います。

- 接続種類別選択
  LAN([LAN接続を使用])とダイヤルアップ([ダイヤルアップ接続を使用])のどちらの接続でオンライン検索を行うかを選びます。ダイヤルアップ接続を使用する場合は、接続先をコンボボックスから選びます。[タイトル取得の完了時に回線を自動で切断]をチェックすると、オンライン検索後に自動で回線を切断します。
- プロキシサーバーを使用する場合
  [プロキシサーバーを使用]にチェックし、以下の設定をします。
  — サーバー:
    プロキシサーバーアドレスを入力します。
    (設定例:190.225.254.22)
  — ポート番号:
    プロキシサーバーのポート番号を入力します。
    (設定例:8080)

!ご注意
プロキシサーバーの設定を変更した場合は、「Title Updater」ソフトウェアを再起動してください。

ダイヤルアップ接続の設定

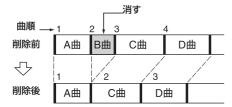
[ダイヤルアップ接続を使用]を選んでオンライン検索を開始すると、ダイヤルアップ接続画面が表示されますので、以下の設定をします。

- [接続先]:
  接続先リモートホストをコンボボックスから選びます。
- [ユーザー名]:
  リモートホストへ接続するユーザー名を入力します。
- [パスワード]:
  リモートホストへ接続するパスワードを入力します。

[接続]をクリックしてダイヤルアップ接続を実行します。

HDD内のアルバムや曲を削除する

HDD内のアルバムや曲を削除できます。
一度消すと元には戻せません。
曲を消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例）B曲を消す

"ウォークマン"に入っている曲を削除するには

「"ウォークマン"の曲を削除する」（39ページ）をご覧ください。

1 HDDボタンを押してHDDファンクションにし、オプションボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンを押して「削除」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓/←/→ボタンを押して削除する項目を選び、決定ボタンを押す。

以下の操作を行ってください。

- HDD内のすべての曲を削除する場合：
「すべてのアーティスト」を選ぶ。
- アルバムを削除する場合：
削除したいアルバムのアーティストを選び、アルバムを選び、「アルバム内全曲」を選ぶ。
- 1曲を削除する場合：
削除したい曲のアーティストを選び、その曲が含まれるアルバムを選び、曲を選ぶ。

4 ↑/↓ボタンを押して「実行します」を選び、決定ボタンを押す。

1つ前の操作に戻るには

戻るボタンを押します。
手順4で「中止します」を選ぶと、手順3の状態に戻ります。

削除を中止するには

■ボタンを押します。

スリープタイマーを使う

本機の電源が自動的に切れるまでの時間を10分単位で決めることができます。眠るときに便利です。

1 聞きたい音源を再生する。

2 スリープボタンを押す。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

オート → 90分 → 80分 → 70分 → … 10分 → オフ → オート…

「オート」を選ぶと100分経過後に自動的に本機の電源が切れます。
100分の間にHDDやCD、"ウォークマン"の再生が終了した場合は、その時点で自動的に本機の電源が切れます。
設定したい時間を表示させるだけで設定は完了です。

スリープタイマーの残り時間を確認するには

スリープボタンを押します。
「オート」に設定しているときは、スリープタイマーの残り時間は表示されません。

スリープタイマーを途中で止めるには

手順2で「オフ」を選びます。

！ご注意

ウェイクアップタイマー、タイマー録音が動作中にスリープタイマーを設定すると、スリープタイマーが優先されます。

- ウェイクアップタイマー、タイマー録音の開始時刻にスリープタイマーが働いていると、ウェイクアップタイマー、タイマー録音は始まりません。
- ウェイクアップタイマー、タイマー録音の終了時刻にスリープタイマーが働いていると、ウェイクアップタイマー、タイマー録音の終了時刻になっても再生や録音が終了しません。スリープタイマーの設定時間が経過し、本機の電源が切れるまで再生や録音が続きます。
- ウェイクアップタイマー、タイマー録音の終了時刻前にスリープタイマーの設定時間が経過すると、本機の電源が切れ、ウェイクアップタイマー、タイマー録音も終了します。

ウェイクアップタイマーを使う

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、自動的に切れるように設定できます。HDD、CD、"ウォークマン"、ラジオの自動再生が可能です。あらかじめ時計を合わせておいてください(24ページ)。
ウェイクアップタイマーとタイマー録音を同時に設定することはできません。

1 音源を準備する。

再生したい音源を準備して、音量+/−ボタンで音量を調節してください。お好みの曲を再生したい場合は、プログラムを登録してください(50ページ)。("ウォークマン"ではウェイクアップタイマーでプログラム再生をすることはできません。)

2 時計/タイマー設定ボタンを繰り返し押して「⏲再生設定」を選び、決定ボタンを押す。

「⏲再生」表示と、開始時刻の時間表示が点滅します。

3 開始時刻を設定する。

MEGA BASS
⏲再生
⏲再生設定
開始 0:00AM

⬆/⬇ボタンを押して時間を設定します。➡ボタンを押すと分表示が点滅します。同様に分を設定します。
時間設定に戻るには、⬅ボタンを押してください。開始時刻を設定したら、決定ボタンを押します。終了時刻の設定画面に切り換わります。

4 終了時刻を設定する。

手順3と同様に終了時刻を設定してください。終了時刻を設定したら、決定ボタンを押します。音源選択画面に切り換わります。

5 ⬆/⬇ボタンを押して再生したい音源を選び、決定ボタンを押す。

ウェイクアップタイマーの設定確認が表示され、手順1の画面に戻ります。

6 I/⏻(電源)ボタンを押して電源を切る。

HDD、CD、"ウォークマン"を音源に選んだ場合:
タイマー開始の約60秒前に自動的に電源が入り、約10秒前になると設定した音源の再生が始まります。約60秒前にすでに本機の電源が入っている場合は、ウェイクアップタイマーは働きません。
ラジオを音源に選んだ場合:
タイマー開始の約15秒前になると自動的に電源が入り、設定した音源の再生が始まります。このとき、すでに本機の電源が入っている場合は、ウェイクアップタイマーは働きません。

終了時刻以降も再生を続けるには

ウェイクアップタイマーの動作中にタイマーを解除することができます。終了時刻設定がキャンセルされるので、再生がそのまま継続します。
ウェイクアップタイマーの動作中に、時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「オフ」を選び、決定ボタンを押します。「タイマー オフ」と表示され終了時刻設定がキャンセルされます。

設定したタイマーを起動する、または設定を確認するには

時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「⏲再生」を選び、決定ボタンを押します。

タイマーを中止するには

時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「オフ」を選び、決定ボタンを押します。

設定を変更するには

手順1から操作を繰り返してください。

ヒント

手動で中止しないかぎり、ウェイクアップタイマー設定は継続します。

タイマー録音する

指定した時刻に自動的に電源が入り、ラジオの音声を録音して自動的に電源が切れるように設定できます。一度設定した放送局や開始／終了時刻の情報は本機に記憶されます。一度録音が終了すると、タイマー録音は「オフ」の状態になりますが、設定内容は記憶されているため、毎日同じ番組を録音する場合などは、タイマーを起動するだけでタイマー録音が設定できます（70ページ）。別の放送局や別の時間にタイマー録音したい場合は、設定をしなおしてください。

あらかじめ時計と放送局を設定しておいてください（24、44ページ）。

タイマー録音とウェイクアップタイマーを同時に設定することはできません。

1　録音したい放送局を受信する（44ページ）。

2　時計/タイマー設定ボタンを繰り返し押して「◴録音設定」を選び、決定ボタンを押す。

「◴録音」表示と、開始時刻の時間表示が点滅します。

3　録音開始時刻を設定する。

⬆/⬇ボタンを押して時間を設定します。➡ボタンを押すと分表示が点滅します。同様に分を設定します。

時間設定に戻るには、⬅ボタンを押してください。開始時刻を設定したら、決定ボタンを押します。終了時刻の設定画面に切り換わります。

4　録音終了時刻を設定する。

手順3と同様に終了時刻を設定してください。終了時刻を設定したら、決定ボタンを押します。

タイマー録音の設定確認が表示され、手順1の画面に戻ります。

5　I/⏻（電源）ボタンを押して電源を切る。

タイマー開始の約60秒前に自動的に電源が入り、約10秒前になると設定した放送局の再生が始まります。約60秒前にすでに本機の電源が入っている場合は、タイマー録音は働きません。

タイマー録音中は音量が0になります。音を出すには音量＋ボタンを押します。

！ご注意

タイマー録音後は音量が0になります。音を出すには音量＋ボタンを押してください。

タイマー録音を途中で止めるには

■を押します。

終了時刻以降も録音を続けるには

タイマー録音動作中にタイマーを解除することができます。終了時刻設定がキャンセルされるので、録音がそのまま継続します。

タイマー録音動作中に、時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「オフ」を選び、決定ボタンを押します。「タイマー オフ」と表示され終了時刻設定がキャンセルされます。

設定したタイマーを起動する、または設定を確認するには

時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「◷録音」を選び、決定ボタンを押します。

タイマーを中止するには

時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「オフ」を選び、決定ボタンを押します。

設定を変更するには

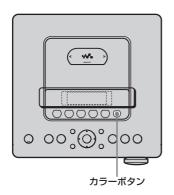
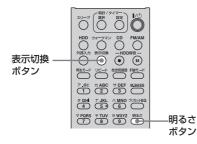
手順1から操作を繰り返してください。

特定の放送を毎日録音するには

時計/タイマー選択ボタンを繰り返し押して「◷録音」を選び、決定ボタンを押します。
一度タイマー録音の設定を行うと、その設定が記憶されます。タイマー録音が行われると、録音終了時に設定が「オフ」になるため、特定の放送を毎日録音したい場合は、その都度「◷録音」を選んでください。

!ご注意

現在時刻と同じ時刻を、終了時刻として設定することはできません。

画面の設定を変える

画面の色を変える

本体の表示窓のバックライトの色を変えることができます。

1　本体のカラーボタンを繰り返し押す。

ボタンを押すたびにバックライトの色が次のように切り替わります。お好みの色を選んでください。

◆レインボー（オート）＊ → ホワイト → ブルー → スカイブルー → グリーン → イエロー → オレンジ → ピンク → パープル → リラックス（オート）＊ → パッション（オート）＊ → レインボー（オート）＊ …

（◆：お買い上げ時の設定）

＊　一定時間ごとに色が変化します。

！ご注意

本機の電源が切れているときの画面表示の設定が、デモ表示または省電力モードのときは（72ページ）、電源が切れている状態で画面の色を変えることはできません。

画面の明るさを変える

本体の表示窓のバックライトの明るさを変えることができます。

1　明るさボタンを繰り返し押す。

ボタンを押すたびにバックライトの明るさが次のように切り替わります。

◆バックライト 明るい → バックライト 暗い → バックライト オフ → バックライト 明るい …

（◆：お買い上げ時の設定）

！ご注意

本機の電源が切れているときの画面表示の設定が、デモ表示または省電力モードのときは（このページ）、電源が切れている状態で画面の明るさを変えることはできません。

画面の表示を切り換える

表示切換ボタンを使って画面の表示を切り換え、さまざまな情報を確認することができます。

電源が入っているときの表示を切り換えるには

1　電源が入っている状態で、表示切換ボタンを繰り返し押す。

停止中はHDDやCD、“ウォークマン”の中の総アルバム数や総曲数、空き容量、時計表示などを、再生中はID3タグ情報（曲名やアルバム名、アーティスト名）、経過時間、時計表示などを表示します。再生モードによっても表示される内容が異なります。

！ご注意

- 本機で表示できない文字があった場合、アンダースコア（ _ ）に置き換えて表示されます。
- 再生モードによっては音楽CDの総再生時間が表示されないことがあります。
- 64文字以上の情報は表示されません。

電源が切れているときの表示を切り換えるには

本機の電源が切れているときに表示する画面の設定を変更することができます。

1　電源が切れている状態で、表示切換ボタンを繰り返し押す。

ボタンを押すたびに表示が次のように切り替わります。

画面表示	内容
デモ表示*	デモが表示される。
時計表示	時計が表示される。
省電力モード（表示なし）	消費電力を最小限に抑えるために表示を消す。

* デモ表示に設定されているときは、電源が入っている状態で何も操作をしない状態が15分続くと、デモ表示になります（ファンクションがHDD/CD/ウォークマンの場合のみ）。いずれかのボタンを押すとデモ表示が消えます。

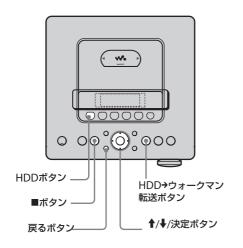
！ご注意

デモ表示または時計表示に設定しているときは、電源が切れていても、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回ります。故障ではありません。省電力モードに設定すると、ファンは止まります。

システムを初期化する

本機をお買い上げ時の状態に戻します。録音や取込みでHDDに保存した音楽データだけでなく、時計設定などすべての情報が消去されますのでご注意ください。
電源が切れているときの画面表示の設定が省電力モードに設定されているときは、本機を初期化できません。デモ表示または時計表示に設定してください(72ページ)。
本体のボタンを使って操作を行います。

1 電源コードをコンセントから抜き、再度接続して、電源を入れる。

2 HDDボタンを押してHDDファンクションにする。

3 ■ボタン、戻るボタン、HDD➔ウォークマン転送ボタンを同時に押す。

「HDD初期化」が表示されます。

4 ⬆/⬇ボタンを押して「実行します」を選び、決定ボタンを押す。

初期化が始まります。
初期化が終了すると自動的に本機の電源が切れます。
電源が切れたあとにデモ表示が始まります(お買い上げ時の状態に戻るため)。デモ表示の解除について詳しくは23ページをご覧ください。

中止するには

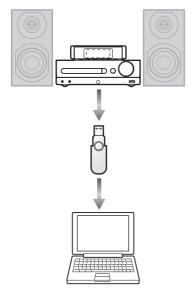
手順4で「中止します」を選びます。

!ご注意

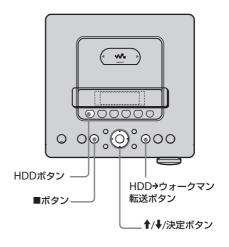
システムの初期化中は電源を切ったり電源コードを抜いたりしないでください。

HDD内のデータをパソコンに保存する

本機のHDDに保存した音楽データを、USBメモリを使ってパソコンに保存することができます。

ヒント

USBメモリのかわりに、"ウォークマン"もお使いいただけます。"ウォークマン"をお使いになる場合は、以下の点にご注意ください。

- "ウォークマン"を本機に接続する際は、本体前面のψ(USB)端子に接続してください。WM-PORTにも"ウォークマン"が接続されている場合は、WM-PORT側の"ウォークマン"を取りはずしてください。
- 充分に空き容量のある"ウォークマン"をお使いください。
- パソコンに"ウォークマン"を接続して、パソコンから"ウォークマン"内を操作するときは、[E350HD]以外のフォルダ、ファイルを操作しないでください。

1 **USBメモリを本機のψ(USB)端子に接続する。**

2 **HDDボタンを押してHDDファンクションにする。**

3 **■ボタン、決定ボタン、HDD➔ウォークマン転送ボタンを同時に押す。**

「パソコンへのデータ保存」とアーティスト一覧が表示されます。

4 **⬆/⬇ボタンを押してアーティストを選び、決定ボタンを押す。**

5 **⬆/⬇ボタンを押してアルバムを選び、決定ボタンを押す。**

6 ⇧/⇩ボタンを押して転送したい項目を選ぶ。

- 選んだアルバム内の全曲を転送する場合：「アルバム内全曲」を選ぶ。
- 選んだ曲のみを転送する場合：転送したい曲を選ぶ。

7 決定ボタンを押す。

転送が始まります。
USBメモリのルートフォルダに「E350HD」というフォルダが作られます。
手順6で「アルバム内全曲」を選んで転送した場合、「E350HD」フォルダ内に同じアルバム名のフォルダが作られ、そのフォルダに曲が転送されます。手順6で転送したい曲を選んで転送した場合、「E350HD」フォルダ内に「1曲保存」フォルダが作られ、そのフォルダに曲が転送されます。
転送が終了したら、手順3 ～ 7を繰り返してパソコンに保存したいデータをUSBメモリに転送します。

8 転送が終了したらUSBメモリを本機からはずして、パソコンにつなぐ。

9 USBメモリのルートフォルダにある「E350HD」フォルダを開き、フォルダ内のデータをパソコンに保存する。

「ミュージック」(Windows XPの場合は「マイミュージック」)フォルダなどに保存します。

！ご注意

データの転送中は、USBメモリを本機から抜かないでください。USBメモリ内のデータが壊れることがあります。

ヒント

- 本機から転送したフォルダ、ファイルの更新日時はすべて「2009 1/1 0:00」になります。
- パソコンに保存したデータは、「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使って本機に転送することができます(31ページ)。本機から曲単位でパソコンに保存したデータを「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使って本機に転送した場合、本機内の元のアルバムに戻らないことがあります。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生したり、調べたいことがある場合は、ソニーの相談窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れに従ってチェックしてみてください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べます。

2　「HDDコンポ<ネットジューク>／システムステレオ」サポートページで調べる

http://www.sony.co.jp/netjuke-support/で調べます。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。
詳しくは「サポートページで調べるには」（77ページ）をご覧ください。

3　それでもトラブルが解決しないときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。
CDに関連する不具合が発生し、本機の修理・点検を依頼する場合は、不具合が発生するCDも一緒にお持ちください。

本機のリセット方法について

通常は本機をリセットする必要はありません。しかし、まれに本機が異常終了して、ボタンや画面上の操作に反応しなくなってしまうことがあります。このような場合は、本体の■ボタン、決定ボタン、I/⏻（電源）ボタンの3つを同時に押して、本機をリセットしてください。ラジオの放送局の登録やタイマー設定、時計設定などの設定情報は自動的に消去されます。

サポートページについて

パソコンをインターネットに接続できる環境の場合、「HDDコンポ＜ネットジューク＞／システムステレオ」のサポートページhttp://www.sony.co.jp/netjuke-support/でトラブルの解決方法や最新情報などを調べることができます。

！ご注意

サポートページの内容は、2009年6月現在のものです。

サポートページを見るには

ブラウザのアドレス欄にhttp://www.sony.co.jp/netjuke-support/と入力してサポートページを表示します。

サポートページでは、以下の情報などを見ることができます。

- 機種別サポート情報
- よくあるお問い合わせ（Q&A）情報
- 接続機器一覧（使用できる"ウォークマン"やUSBメモリなどの一覧）
- 製品に関する重要なお知らせ（サポートからの重要なお知らせ）
- 製品カスタマー登録

サポートページで調べるには

1　［機種別サポート］から本機の機種名を選ぶ。

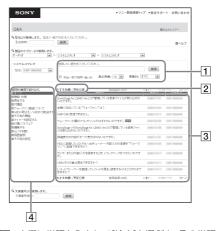
本機の機種名を選ぶ。

2　よくあるお問い合わせ（Q&A）を選ぶ。

よくある問い合わせを調べることができます。

よくあるお問い合わせ（Q&A）を選ぶ。

Q&A画面の見かた

空欄に単語を入力して[検索]を選ぶと、その単語を含む質問/回答を表示します。

1　空欄に単語を入力して[検索]を選ぶと、その単語を含む質問/回答を表示します。

2　「おすすめ順」「更新日順」に並べ替えます。

3　質問を選ぶと、回答が表示されます。

4　「再生する」など、質問の種類で絞り込みます。

スタンバイランプが点滅しているときは

プロテクト機能が働いています。電源コードをコンセントから抜き、本機に接続されている機器（"ウォークマン"やUSBメモリなど）を本機からはずして、次の項目を確認してください。

- 本機に接続している機器（"ウォークマン"やUSBメモリなど）や電源コード、スピーカーコードに異常はありませんか？
- 付属のスピーカーを使っていますか？
- 本体裏面の通風孔を塞ぐようなものが置かれていませんか？

異常がなければ、スタンバイランプが消灯したことを確認してから、再度電源コードをコンセントにつないでください。スタンバイランプが点滅しなければ、そのままお使いいただけます。スタンバイランプが点滅したままの場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

電源

Q 電源が入らない。

A 電源コードを電源コンセントにしっかり差し込む。

A 電源コードをコンセントからはずす。約1分後、もう一度コンセントにコードを差し込み、I/⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。

Q 「電源を切るための処理をしています」と表示されたまま、電源が切れるまで時間がかかる。

A 本機に大量の曲が保存されている場合、電源が切れるまで時間がかかることがあります。

Q 電源が切れない。

A 起動中には、I/⏻（電源）ボタンが効かないことがあります。

A 電源が切れているときの画面の設定がデモ表示になっているときは、電源を切ったあとにデモ表示が始まります。本体のオプションボタンを押してデモ表示を解除してください。デモ表示の解除について詳しくは23ページをご覧ください。

Q 電源コードをコンセントから抜いても、スタンバイランプが消えない。

A 電源が切れているときの画面表示の設定が、省電力モードに設定されているときは、電源コードを抜いてもスタンバイランプがしばらく消えない場合があります。故障ではありません。

Q 電源を切っているのにファンが回っている。

A デモ表示または時計表示に設定しているときは（72ページ）、電源が切れていても、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回ります。故障ではありません。
ファンの回転の音が気になる場合は、省電力モードに設定して下さい（72ページ）。

画面

Q I/⏻（電源）ボタンを押していないのに、電源コードをコンセントに差し込んだあと、画面にいろいろな表示が出る。電源が入っている状態でしばらく操作をしなかったら、画面にいろいろな表示が出る。

A デモ表示になっている。本体のオプションボタンを押してデモ表示を解除してください。デモ表示の解除について詳しくは23ページをご覧ください。

Q 画面が乱れる。

A 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用してください。

A ハードディスクの特性上、ごくまれに画面が乱れることがありますが、故障ではありません。

音声

Q 音が出ない。

A 消音ボタン、または音量+/−ボタンを押して、消音状態を解除する。

A 一時停止を解除する。

A ☊(ヘッドホン)端子に何も接続されていないことを確認する。

A 外部入力端子に接続された機器がきちんと接続されているか、外部入力ファンクションになっているか確認する。

A スピーカーコードをしっかり差し込む。

A CDからHDDへの高速録音中は、音が出ません。

A タイマー録音中は音量が0になります。音を出すには音量+ボタンを押してください。

A タイマー録音後は音量が0になります。音を出すには音量+ボタンを押してください。

Q 左右の音のバランスが悪い、または逆転している。

A スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

A スピーカーをできるだけ左右対称の位置に置く。

Q 音に奥行き感がなく、モノラルのように聞こえる。

A スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

Q ブーンという音がする。ノイズがひどい、音が歪む。

A スピーカーおよび各機器を正しく接続する。

A 音声接続コードをディスプレイや蛍光灯、その他の機器から離してみる。

A テレビやビデオと本機を離して設置する。

A プラグや端子が汚れているときは、アルコールで少し湿らせた布で拭き取る。

A ディスクに汚れ、傷がある。

A 電源コードを別のコンセントに接続してみる。

A 別売りのノイズフィルターを使う。

HDD

Q CDから録音できない。

A ディスクが音楽CD規格に準拠していない。

A ディスクが傷ついていたり、汚れている。

Q 録音が始まらない。

A HDDの空き容量がない。

A HDDに保存できる曲数やアルバム数が上限に達した。

Q 録音したアルバムが見当たらない。

A CDから録音する際に、タイトル情報の検索結果の一覧から「該当なし」を選んで録音した場合や、タイトル情報がなくそのまま録音した場合は、「(CD)」というアーティスト名で録音されます。アーティスト名の一覧で⬆/⬇ボタンを押して「(CD)」を選んでください(28ページ)。

Q 曲間のないCDを録音したのに、曲間に微妙な空きができる。

A ライブ盤CDのような曲間のないCDを録音し、再生すると、曲と曲の間に1秒未満の空きが自動的に入ります。

Q "ウォークマン"へ転送した曲のアルバム名が途中で切れている。

A "ウォークマン"へ転送できるアルバム名の最大サイズは128バイトです。
転送されるアルバム名の最大文字数の目安:
- 日本語でおよそ64文字
- アルファベットでおよそ128文字

Q タイトル情報が編集できない。

A 再生中に表示切換ボタンを押して表示されるアーティスト名、アルバム名、曲名のタイトル情報(ID3タグ情報)は、本機の名前編集機能では編集できません。これらのタイトル情報を編集する場合は、「Title Updater」ソフトウェアを使って、パソコンでタイトルを編集してください(58ページ)。

Q アーティスト名を編集すると「この名称は使用できません」と表示され、変更できない。

A 本機の名前編集機能では、すでにHDDに入っているアーティスト名と同じ名前に編集することはできません。この場合は、「Title Updater」ソフトウェアを使って編集してください(58ページ)。パソコンをお持ちでない場合は、アーティスト名を編集することはできません。

Q 編集に時間がかかる。

A HDD内のアルバムや曲の数によっては時間がかかることがあります。

Q タイトル情報を取得できない。

A 本機内のデータベースにタイトル情報が存在しないCDを録音した。本機に搭載されているデータベースは2009年5月時点のものです。それ以降に発売された楽曲のタイトル情報は本機のデータベースには登録されていません。「Title Updater」ソフトウェアを使って、タイトル情報を取得するか(58ページ)、本機の名前編集機能を使ってタイトルをつけてください(55ページ)。

A CDを入れた際、正しいタイトル情報が表示されず、タイトル検索結果の一覧から「該当なし」を選んで録音した。「Title Updater」ソフトウェアを使って、タイトル情報を取得するか(58ページ)、本機の名前編集機能を使ってタイトルをつけてください(55ページ)。

A 市販されていないディスク(お好みの曲を集めた自作CD-R/RWなど)を入れた。

Q USBメモリが(USB)端子に差し込めない。

A USBメモリの向きを上下逆に接続しようとした。正しく接続しなおしてください。

Q 「読込み中」と表示されたまま、しばらく操作ができない。

A 次のような場合、USBメモリの読み込みにしばらく時間がかかることがあります。

- USBメモリにたくさんのデータが保存されている。
- USBメモリ内のファイル構造が極端に複雑になっている。
- USBメモリ内のデータが壊れている。

Q エラーのような画面が表示される。

A HDD内のデータが壊れている可能性があります。もう一度HDDに録音/取込みし直してください。

A 本機で表示できない文字は、アンダースコア(_)で表示されます。

Q USBメモリが認識されない。

A 本機の電源を切り、USBメモリを接続しなおし、再度本機の電源を入れる。

A 対応機種以外のUSBメモリを使っている。「本機と接続できる機器("ウォークマン"、USBメモリなど)について」(95ページ)または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

A USBメモリが正常に動作していない。USBメモリの取扱説明書を確認してください。それでも問題が起こる場合はソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

A WM-PORTに"ウォークマン"が接続されている。"ウォークマン"を取りはずしてください。

A NTFSでフォーマットされたUSBメモリを使っている。

CD

Q 録音がすぐに始まらない。

A CDを本機に入れ、タイトル情報の検索結果一覧で「該当なし」を選んだあと、CD➔HDD高速録音ボタンを押すと、録音が始まるまでにしばらく時間がかかることがあります。故障ではありません。

Q 再生が始まらない。

A ディスクが入っているか確認する。

A ディスクのラベル面を上にする(42ページ)。

A ディスクが斜めにずれて入っているときは、正しく入れ直す。

A 再生できないディスクを入れている(92ページ)。

A 結露している。ディスクを取り出して電源を切った状態で約30分放置し、再びディスクを入れる(91ページ)。

Q 再生できない。音飛びが入る。

A ディスクがCD規格に準拠していない。

A ディスクが傷ついていたり、汚れている。

A 振動のないところで使用する。

A スピーカーを本体から離して設置する。音量が大きいとスピーカーの振動で音飛びすることがあります。

Q 音が出ない。

A 再生できないディスクを入れている(92ページ)。MP3ディスクを入れた場合、再生は始まりますが、音は出ません。

A CDからHDDへの高速録音中は、音が出ません。

Q 再生が1曲目から始まらない。

A シャッフル再生やプログラム再生になっている。再生モードボタンを繰り返し押して、表示窓の「シャッフル」や「プログラム」を消し、通常の再生に戻してください(49ページ)。

Q タイトル情報を取得できない。

A 本機にディスクが入っていない。

A 本機内のデータベースにタイトル情報が存在しないCDを入れた。本機に搭載されているデータベースは2009年5月時点のものです。それ以降に発売された楽曲のタイトル情報は本機のデータベースには登録されていません。そのまま録音してください。
正しいタイトル情報が表示されないCDの場合は、タイトル検索結果の一覧から「該当なし」を選んで録音してください。
録音後にタイトル情報を取得したい場合は、「本機のタイトル情報について」(52ページ)の内容に沿ってタイトルを取得してください。

A 市販されていないディスク(お好みの曲を集めた自作CD-R/RWなど)を入れた。

“ウォークマン”

Q “ウォークマン”が本機に認識されない。

A 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。「本機と接続できる機器(“ウォークマン”、USBメモリなど)について」(95ページ)または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

A ⭍(USB)端子にUSBメモリが接続されていて、取込みなどの作業を行っている。USBメモリからの取込みが終了するまで待ってください。

A 本機のWM-PORTと⭍(USB)端子両方に“ウォークマン”を接続しているときは、一方をはずす。

A 接続しているUSBケーブルを接続し直す。

A “ウォークマン”が正しく動作していない。“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

Q 「読込み中」と表示されたまま、しばらく操作ができない。

A 次のような場合、“ウォークマン”の読み込みにしばらく時間がかかることがあります。

- “ウォークマン”にたくさんのデータが保存されている。
- “ウォークマン”内のファイル構造が極端に複雑になっている。
- “ウォークマン”内のデータが壊れている。

Q “ウォークマン”内の曲が認識されない。

A ドラッグ＆ドロップによるファイル転送に対応した“ウォークマン”で、ドラッグ＆ドロップで“ウォークマン”に転送した曲は、本機では認識されません。

Q 再生が始まらない。

A 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。「本機と接続できる機器（“ウォークマン”、USBメモリなど）について」（95ページ）または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

A 本機で再生できるのはMP3、AAC、WMA、ATRAC形式の曲のみです。

Q HDDから曲を転送できない。

A “ウォークマン”に空き容量がない。不要な曲を削除してください（39ページ）。

A “ウォークマン”の曲やアルバムの数が上限に達した。不要な曲を削除してください（39ページ）。

A 対応機種以外の“ウォークマン”を使っている。「本機と接続できる機器（“ウォークマン”、USBメモリなど）について」（95ページ）または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

Q “ウォークマン”に転送した曲のタイトルがHDDで表示されたタイトルと違う。

A ID3タグ情報を持っている曲を“ウォークマン”に転送すると、“ウォークマン”で表示されるタイトルはID3タグ情報になります。ID3タグ情報を持っていない曲の場合は、“ウォークマン”で表示されるタイトルはファイル名、フォルダ名になります。

A 「かんたん音楽転送-USBメモリ-」ソフトウェアで取込んだ音楽データを“ウォークマン”に転送すると、本機で表示されたタイトルと異なるタイトルが表示されることがあります。

Q “ウォークマン”に転送した曲のタイトルが本機で編集したタイトルと違う。

A ID3タグ情報を持っている曲を“ウォークマン”に転送すると、“ウォークマン”で表示されるタイトルはID3タグ情報になります。本機の名前編集機能では、このID3タグ情報を編集できないため、本機で名前を編集したタイトル情報は“ウォークマン”では表示できません。この場合は、次のいずれかの操作を行ってタイトル情報の更新を行い、その後、“ウォークマン”に転送してください。

- パソコンを使って編集する：
  「Title Updater」ソフトウェアを使ってタイトル情報の更新、編集を行ってください（58ページ）。
- パソコンを使わずに編集する：
  再度CDからHDDに録音しなおしてください。その際、タイトル情報の検索結果画面で「該当なし」を選び、録音してください（28ページ）。その後、本機の名前編集機能（55ページ）を使ってタイトルを編集してください。

「“ウォークマン”でタイトル情報が正しく表示されないときは」（54ページ）もあわせてご覧ください。

A 「かんたん音楽転送-USBメモリ-」ソフトウェアで取込んだ音楽データを“ウォークマン”に転送すると、本機で編集したタイトルと異なるタイトルが表示されることがあります。

Q “ウォークマン”への転送が途中で止まってしまう。

A “ウォークマン”への転送と“ウォークマン”内のデータの削除を繰り返し行うと、“ウォークマン”のデータ構造が複雑になり、転送できなくなることがある。“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

A “ウォークマン”の曲やアルバムの数が上限に達した。不要な曲を削除してください(39ページ)。

A 転送の途中で“ウォークマン”が本機から外れてしまった、または電源が切れてしまった。途中まで転送された曲を削除して(39ページ)転送しなおしてください。問題が解決しないときは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

Q “ウォークマン”の曲やアルバムが削除できない。

A “ウォークマン”が書込み禁止になっている。設定を解除してください。

A 削除の途中で“ウォークマン”が本機から外れてしまった、または電源が切れてしまった。曲またはアルバムを削除しなおしてください(39ページ)。問題が解決しないときは、“ウォークマン”の取扱説明書をご覧ください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはお買い上げ店にご相談ください。

FM/AM

Q 放送が受信できない、または雑音が入る。

A アンテナを正しく接続する(21ページ)。

A アンテナの向きなどを調節する。

A 屋外アンテナ(別売り)を使用する。

A アンテナを本体やスピーカーコード、電源コード、USBケーブルから離してください。

A 近くにある電気器具の電源を切ってください。

A ステレオで受信しているときは、モノラルに切り換えてください(44ページ)。

A AMループアンテナのプラスチックスタンドからコードがはずれてしまったときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

かんたん音楽転送 -USBメモリ-

Q インストールできない。

A お使いのパソコンで本ソフトウェアをインストールできるか、必要なパソコンのシステム環境を確認してください(94ページ)。

Q インストーラーが自動的に起動しない。

A インストーラーが自動的に起動しない場合は、WindowsエクスプローラーでCD-ROMドライブをダブルクリックして開き、「Music Transfer」フォルダ内のsetup.exeをダブルクリックしてインストーラーを起動してください。

Q 本機への取込みが始まらない。

A HDDの空き容量がない。

A HDDに保存できる曲数やアルバム数が上限に達した(93ページ)。

Q 音楽ファイルを取込めない。

A USBメモリから取込める音楽ファイルは、付属の「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使ってパソコンから転送したファイルのみです。

A 音楽配信サイトなどで購入した音楽データは、著作権保護されているため取込むことができません。

A 対応機種以外のUSBメモリを使っている。「本機と接続できる機器(“ウォークマン”、USBメモリなど)について」(95ページ)または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

A USBメモリが本機の(USB)端子にきちんと接続されているか確認する。

Q 取込んだ音楽データが、パソコン上のアーティスト名で保存されない。

A 複数のアーティストで構成されたアルバムを本機に取込んだ場合、HDDには「(USB)」というアーティスト名で取込まれます。

タイマー

Q ウェイクアップタイマーまたはタイマー録音が動作しない。

A 日付や時刻を正しく設定する(24ページ)。

A タイマーが「オフ」に設定されている。タイマーを起動してください(67、69ページ)。

A 予約待機中に停電があったか電源コードが抜かれた。

A 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

A タイマー開始時刻の60秒前に、すでに電源が入っていた。

Q ウェイクアップタイマーまたはタイマー録音の終了時刻になっても、再生または録音が終了しない。

A ウェイクアップタイマー、タイマー録音の終了時刻にスリープタイマーが働いていると、ウェイクアップタイマー、タイマー録音の終了時刻になっても再生または録音が終了しません。

Q ウェイクアップタイマーまたはタイマー録音の終了時刻前に、再生または録音が終了してしまう。

A ウェイクアップタイマー、タイマー録音の終了時刻前にスリープタイマーの設定時間が経過すると、本機の電源が切れ、ウェイクアップタイマー、タイマー録音も終了します。

Q タイマー録音した内容が途中で切れている。先頭、途中が抜けている。

A 日付や時刻を正しく設定する(24ページ)。

A タイマー録音中に停電があったか、電源コードが抜かれた。

A 本機が衝撃や振動に反応した。安定した場所で使用する。

タイトル更新

Q パソコンで「Title Updater」ソフトウェアが使えない。

A 対応機種以外のUSBメモリを使っている。「本機と接続できる機器(“ウォークマン”、USBメモリなど)について」(95ページ)または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

Q Title Update.exeを実行したらエラーが発生した。

A ポケットビットのソフトウェアVirtual Expanderを終了させてから再度Title Update.exeを実行してください。

Q 「タイトル情報を書出せませんでした」と表示される。

A 音楽CDから録音した音楽データ以外は書き出すことができません。

A USBメモリがきちんと(USB)端子に接続されているか確認する。

A 「かんたん音楽転送-USBメモリ-」ソフトウェアを使って本機に取込んだ音楽データは、「Title Updater」ソフトウェアを使ってタイトルを取得することはできません。

Q USBメモリや「Title Updater」ソフトウェアがパソコンに認識されない。

A 一度USBメモリを抜いてから、再度きちんとつなぎなおす。

A WM-PORTと(USB)端子両方に"ウォークマン"またはUSBメモリが接続されている場合、WM-PORT側の"ウォークマン"が優先的に認識されます。(USB)側の機器をお使いになる場合は、WM-PORT側の機器を取りはずしてください。

Q "import.dat" ファイルが保存されない。

A USBメモリの空き容量が不足している。不要なデータを削除してください。

A USBメモリが書込み禁止になっている。設定を解除してください。

その他

Q 正常に動作しない。

A 静電気などの影響を受けている。このときは、電源ボタンを押して電源を切り、再び電源を入れる。それでも正常に動作しないときは、リセットする（76ページ）。

A 画面に警告メッセージが出ている。メッセージに従ってください。

Q リモコンが働かない。

A 乾電池が消耗している。

A 乾電池が入っていない。

A リモコンをリモコン受光部に向けて操作する。

A 本機の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。本機を蛍光灯から離して設置する。

A 本体とリモコンの間の障害物を取り除き、本機を蛍光灯から離して設置する。

A 本体にリモコンを近づけて操作する。

Q 本機が振動したり、通風孔から音が出る。

A HDDが高速回転しており、本体の温度上昇を抑えるためにファンが回ります。回転による振動や音は故障ではありません。

Q CD録音時に振動や音が大きくなる。

A CDの再生時に比べ、高速回転でHDDに録音するためで、故障ではありません。また、CDの種類によっては、振動や音の大きさが異なる場合があります。

メッセージ一覧

HDD

新しいトラックで録音します

録音中にHDD録音●ボタンを押してトラックマークをつけた。

書込みが正しく終了しませんでした

USBメモリからの音楽ファイルの取込みが終了する前に、USBメモリを本機から取りはずした。

完了しました

操作が正常に完了した。

この曲は再生できません

再生できない曲を再生しようとした。

この名称は使用できません

同じ名前の曲、アルバム、アーティストがすでに存在するため、登録できない。登録していた名前を削除し、何も名前をつけていない。

これ以上登録できません

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

空き容量がありません

HDDに空き容量が少ないため、録音できない。

これ以上録音できません アルバム数が上限です

録音できるアルバム数が上限に達したため、録音できない。

これ以上録音できません トラック数が上限です

録音できる曲数が上限に達したため、録音できない。

再生する曲がありません

本機で再生できる曲がない。

再生中は設定できません

再生中に再生モードを変更するなど、停止中のみできる操作を行おうとした。

接続された機器は書込み禁止に設定されています

USBメモリが書き込み禁止状態になっている。

その操作はできません

使用できないボタンを押した、再生できる曲がない、またはHDDファンクション以外のファンクションにしている。

タイトル情報を書出せませんでした

書き出しできるアルバム情報がない、選択したアルバム情報（曲）が書き出せない、または書き出しに失敗した。

タイトル情報を読込めませんでした

読み込みできるアルバム情報がない、またはアルバム情報の読み込みに失敗した。

登録 0

登録していたプログラムをすべて消去した。

読込み中

HDDの情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

録音できませんでした

録音/取込みが始まらない、または途中で停止したため、録音ができない。

HDDに問題があります 取扱説明書をご確認ください

本機内部が正しく動作せず、HDDを認識しなかった。ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へご相談ください。

HDDへ転送できません

HDDへ転送できる音楽データがない。USBメモリを接続しないでWM-PORT/USB➔HDD取込みボタンを押した。

USBメモリを接続してください

USBメモリが本機に接続されていない状態で、タイトル更新ボタンを押した。

CD、FM/AM

完了しました

FM/AM局の登録が正常に完了した。

これ以上登録できません

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

再生中は設定できません

再生中に再生モードを変更するなど、停止中のみできる操作を行おうとした。

情報が見つかりません タイトル更新をご利用ください

挿入したディスクのタイトル情報が本機内のデータベースにない。

その操作はできません

使用できないボタンを押した。

ディスクがありません

ディスクが入っていない、または本機では再生できないディスクを挿入した。

登録 0

登録していたプログラムをすべて消去した。

読込み中

ディスクの情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

Gracenote Databaseにアクセスしています

本機内のデータベースでタイトル情報を検索している。

"ウォークマン"

ウォークマンを接続してください

"ウォークマン"が接続されていない。

書込みが正しく終了しませんでした

曲の転送中や削除中に"ウォークマン"を取りはずした。

完了しました

操作が正常に完了した。

この曲は再生できません

再生できない曲を再生しようとした。

これ以上登録できません

プログラム登録中に26曲目を登録しようとした。

空き容量がありません

"ウォークマン"に空き容量が少ないため、録音できない。

これ以上録音できません アルバム数が上限です

録音できるアルバム数が上限に達したため、録音できない。

これ以上録音できません トラック数が上限です

録音できる曲数が上限に達したため、録音できない。

再生する曲がありません

"ウォークマン"で再生できる曲がない。

再生中は設定できません

再生中に再生モードを変更するなど、停止中のみできる操作を行おうとした。

削除できませんでした

削除できなかった。

接続された機器は認識できません

"ウォークマン"が認識できない状態で操作をしようとした、対応機種以外の"ウォークマン"を使っている、または"ウォークマン"以外の認識できない機器が接続された。「本機と接続できる機器("ウォークマン"、USBメモリなど)について」(95ページ)または、http://www.sony.co.jp/netjuke-support/の機種別サポートで対応機種を確認してください。

接続しなおしてください

“ウォークマン”が正しく認識されなかった。

その操作はできません

使用できないボタンを押した。

転送できませんでした

転送が始まらない、または途中で停止したため、転送ができない。

登録 0

登録していたプログラムをすべて消去した。

読込み中

“ウォークマン”の情報を読み込んでいる。このとき、いくつかのボタンは操作できなくなります。

時計/タイマー

開始と終了が同じ時刻です

タイマーの終了時刻を開始時刻と同じ時間に設定した。

タイマー動作中は設定できません

タイマー動作中に時計/タイマー設定ボタンを押した。

タイマーを設定してください

タイマー設定をしていない状態でタイマーを確認しようとした。

時計を設定してください

時計を設定しない状態でタイマーを設定しようとした。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではHDD搭載オーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

修理について（ハードディスク）

修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータファイルを確認したり、プログラムを起動することがあります。ただし、それらのファイル、プログラムをソニー側で複製・保存することはありません。
ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。

なお、初期化により、ハードディスク内のプログラムおよびデータがすべて消去されますので、あらかじめお客様にてパソコンへの保存（74ページ）など、必要な対応をされるようお願いいたします。

ご相談になるときは、以下のことをお知らせください。

- 型名：
- 故障の状態：　できるだけ詳しく
- 購入年月日：

今後ともソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

注意事項

使用上のご注意

設置場所について

以下のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所
- じゅうたんや布団の上
- 湿気の多い所、風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 直射日光が当たる所、湿度が高い所
- 極端に寒い所

通風孔をふさがないでください。本機は、ハイパワーアンプを搭載しています。そのため、本体裏面の通風孔をふさぐと、機械内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。物を置くなどして、通風孔を絶対にふさがないでください。

設置場所を変えるときは

CDを入れたまま、本機を動かさないでください。
CDを入れたまま動かすと、CDを傷めることがあります。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15~30分後に再度電源を入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
再生を始める前には、必ず音量を小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、CDや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、CDを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、CDを取り出して、電源を切って約30分放置し、電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ハードディスクについて

ハードディスクは記録密度が高いので、長時間録音やすばやい頭出し再生を楽しめます。その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱い性質があります。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことのないよう、以下の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- コンセントをさしたまま本機を動かさないでください。
- 録音や再生中はコンセントを抜かないでください。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- お客様ご自身で、ハードディスクの交換や増設はできません。故障の原因となります。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

電源コードを抜くときのご注意

本機がスタンバイモードになっていることを確認してから電源コードを抜いてください。
本機の電源が入っているときに電源コードを抜くと、内部データの消失や故障の原因となります。

CDの取り扱いかた

- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- 本機でお使いいただけるCDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- 中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどののりがはみ出していたり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。
- 市販のCDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

著作権保護技術対応音楽ディスクについて

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生･録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠したディスクの再生を前提として、設計されています。DualDiscはDVD規格に準拠した面と、音楽専用の面とを組み合わせた両面ディスクですが、音楽専用の面はCD規格に準拠していないため、本製品で再生できない場合があります。
DualDiscは全米レコード協会(RIAA)の商標です。

対応CDについて

○本機では以下のディスクを再生できます。

- 音楽用CD
- CD-R/RW(音楽ファイル)

!ご注意

- マルチセッションディスクの音楽用CDフォーマットは、最初のセッションに記録されている曲しか再生できません。
- CD-R/CD-RWのディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- CD-RWは、反射率が他のディスクよりも低いため、再生開始までに時間がかかることがあります。
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは再生できません。

ヒント

CDの記録方式について詳しくは、お手持ちのCD-R/RWドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

×本機では以下のディスクを再生することはできません

MP3ディスク

主な仕様

アンプ

実用最大出力

20 W＋ 20 W（8 Ω、JEITA*）

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

システム（HDD部）

容量

160 GB*

* 容量の一部はデータ管理領域として使用されます。実際の使用可能領域は約148 GB（158,425,415,680 byte）です。

フォーマット

MP3/128 kbps、256 kbps

最大録音時間

約2,520時間（128 kbps時）

最大曲数

20,000曲

最大アルバム数

2,000アルバム

システム（CD部）

周波数特性

20 Hz ～ 20 kHz

全高調波ひずみ率

0.1%以下

FM/AM部

回路方式

PLLデジタル周波数シンセサイザークォーツロック方式

受信周波数

FM: 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
AM: 531 kHz ～ 1,602 kHz

入・出力端子

アンテナ入力

FM：75 Ω不平衡型
AM：外部アンテナ端子

外部入力

ステレオミニジャック

外部入力レベル

0.8 V

（USB）端子

USBタイプA
USB

WM-PORT

WM-PORT搭載“ウォークマン”接続用、DC 5 V、500 mA

（ヘッドホン）端子

ステレオミニジャック

スピーカー

型式

2 Wayスピーカーシステム バスレフ型

スピーカーユニット

ウーファー：100 mm コーン型
トゥイーター：40 mm コーン型

定格インピーダンス

8 Ω

最大外形寸法

135 mm×230 mm×220 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量

約2.0 kg/1台

電源、その他

電源

AC100 V、50/60 Hz

消費電力

32 W（JEITA*）

待機消費電力

0.5 W以下（省電力モード）

最大外形寸法

285 mm×142 mm×285 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）

質量

約 4.0 kg

許容動作温度

5 ℃～ 35 ℃

許容動作湿度

25 % ～ 80 %

付属品

12ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 待機時消費電力0.5W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 梱包用緩衝材に紙材料を使用

必要なシステム環境

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアを使用する場合

「かんたん音楽転送 -USBメモリ-」ソフトウェアをお使いいただくには、次のようなハードウェア/ソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機 ● CPU：Intel Pentium Ⅲ Processor 800 MHz以上 ● RAM：512 MB以上を推奨 ● ハードディスクドライブ：200 MB以上（1.5 GB以上を推奨）の空き容量 Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。 ● USB端子 ● CD-ROMドライブ ● Windows互換サウンドボード
OS*	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 2以上） Windows XP Media Center 2004/2005 Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate（Service Pack 2以上）
ディスプレイ	16ビットカラー以上、800×600ドット以上
その他	USBメモリ：USB 1.1以上、10 MB以上（1 GB以上を推奨）の空き容量が必要

「Title Updater」ソフトウェアを使用する場合

「Title Updater」ソフトウェアをお使いいただくには、次のようなハードウェア/ソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機 ● CPU：Intel MMX Pentium Processor 166 MHz以上（Pentium Ⅱ 266 MHz以上を推奨） ● RAM：64 MB以上（128 MB以上を推奨） ● USB端子
OS*	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 2以上） Windows XP Media Center 2004/2005 Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate（Service Pack 2以上）
ディスプレイ	16ビットカラー以上、800×600ドット以上
その他	● インターネットへの接続環境（64 kbps以上を推奨） ● USBメモリ：USB 1.1以上、10 MB以上の空き容量が必要

* このソフトウェアは64ビットOSでは動作の保証はいたしません。
* 上記のOS以外のOSでは動作の保証はいたしません。
* 上記の環境を満たすすべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。また、以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
自作パソコン／標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境／マルチブート環境／マルチモニタ環境／ Macintosh

本機と接続できる機器（“ウォークマン”、USBメモリなど）について

本機と接続して使えるソニー製のデジタル音楽プレーヤー（“ウォークマン”など）とUSBメモリは以下のとおりです（2009年5月現在）。
最新の対応機種は、「HDDコンポ<ネットジューク>／システムステレオ」のサポートページ（http://www.sony.co.jp/netjuke-support/）の機種別サポートをご覧ください。

動作確認済みデジタル音楽プレーヤー

シリーズ	機種名	対応アタッチメント
“ウォークマン” Aシリーズ	NW-A805/A806/A808 NW-A828/A829	タイプA
	NW-A916/A918/A919	タイプB
“ウォークマン” Sシリーズ	NW-S615F/S616F/S715F/S716F/S718F	タイプB
	NW-S636F/S636FK/S638F/S638FK/S639F/S736F/S738F/S739F/S736FK/S738FK	タイプA
“ウォークマン” Eシリーズ	NW-E013/E013F/E015/E015F/E016/E016F NW-E023F/E025F/E026F NW-E042/E043/E044	不要*1
“ウォークマン” Xシリーズ	NW-X1050/X1060*2	タイプB
“Rolly”	SEP-10BT/50BT	不要*1

*1 本体前面の (USB)端子に接続して下さい。
*2 ドラッグ＆ドロップで“ウォークマン”に転送した音楽データは、本機では認識されません。

！ご注意

- 上記の機種をお使いの場合でも、常に動作が保証されているわけではありません。
- 本機では、データ形式がリニアPCM、ATRAC Advanced Losslessの曲は再生できません。
- パソコンを使わずにダイレクトエンコーディング機能で“ウォークマン”に録音した曲は、本機で再生できません。

動作確認済みUSBメモリ

シリーズ	機種名
“ポケットビット”	USM1GLX/2GLX/4GLX/8GLX/16GLX USM1GL/2GL/4GL/8GL USM1GJ（B）/2GJ（B/L/R）/4GJ（B/L/R）/8GJ（B/L/R）
“ポケットビットミニ”	USM1GHX/2GHX

！ご注意

上記の機種をお使いの場合でも、常に動作が保証されているわけではありません。

放送局名一覧

本機には、国内の以下の放送局の名前があらかじめ登録されています。
この放送局名一覧は、各地域における代表的な周波数を記載しています（2009年6月現在）。お使いになる場所によっては周波数が異なる場合があります。

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
北海道（札幌）	NHK･FM	85.2	NHK第1	567
	AIR-G'	80.4	NHK第2	747
	NORTH WAVE	82.5	HBCラジオ	1287
			STVラジオ	1440
北海道（函館）	NHK･FM	87.0	NHK第1	675
	AIR-G'	88.8	NHK第2	1467
	NORTH WAVE	79.4	HBCラジオ	900
			STVラジオ	639
北海道（旭川）	NHK･FM	85.8	NHK第1	621
	AIR-G'	76.4	NHK第2	1602
	NORTH WAVE	79.8	HBCラジオ	864
			STVラジオ	1197
北海道（帯広）	NHK･FM	87.5	NHK第1	603
	AIR-G'	78.5	NHK第2	1125
	NORTH WAVE	82.1	HBCラジオ	1269
			STVラジオ	1071
北海道（釧路）	NHK･FM	88.5	NHK第1	585
	AIR-G'	86.4	NHK第2	1152
	NORTH WAVE	80.7	HBCラジオ	1404
			STVラジオ	882
北海道（北見）	NHK･FM	86.0	NHK第1	1188
	AIR-G'	83.1	NHK第2	702
	NORTH WAVE	79.8	HBCラジオ	1449
			STVラジオ	909
北海道（室蘭）	NHK･FM	88.0	NHK第1	945
	AIR-G'	89.4	NHK第2	1125
	NORTH WAVE	82.5	HBCラジオ	864
			STVラジオ	1440

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
青森	NHK･FM	86.0	NHK第1	963
	エフエム岩手	76.1	NHK第2	1521
	エフエム青森	80.0	IBCラジオ	684
	エフエム秋田	82.8	ABSラジオ	936
			RABラジオ	1233
			AFN	1575
岩手	NHK･FM	83.1	NHK第1	531
	エフエム岩手	76.1	NHK第2	1386
	エフエム青森	80.0	IBCラジオ	684
	エフエム秋田	82.8	ABSラジオ	936
			RABラジオ	1233
			AFN	1575
宮城	NHK･FM	82.5	NHK第1	891
	Date fm	77.1	NHK第2	1089
	FM山形	80.4	YBCラジオ	918
	ふくしまFM	81.8	TBCラジオ	1260
			ラジオ福島	1458
秋田	NHK･FM	86.7	NHK第1	1503
	エフエム岩手	76.1	NHK第2	774
	エフエム青森	80.0	IBCラジオ	684
	エフエム秋田	82.8	ABSラジオ	936
			RABラジオ	1233
			AFN	1575
山形	NHK･FM	82.1	NHK第1	540
	Date fm	77.1	NHK第2	1521
	FM山形	80.4	YBCラジオ	918
	ふくしまFM	81.8	TBCラジオ	1260
			ラジオ福島	1458
福島	NHK･FM	85.3	NHK第1	1323
	Date fm	77.1	NHK第2	1602
	FM山形	80.4	YBCラジオ	918
	ふくしまFM	81.8	TBCラジオ	1260
			ラジオ福島	1458

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
茨城	NHK･FM	83.2	NHK第1	594
	RADIO BERRY	76.4	NHK第2	693
	放送大学	78.8	TBSラジオ	954
	FMぐんま	86.3	文化放送	1134
			IBS茨城放送	1197
			ニッポン放送	1242
			CRT栃木放送	1530
栃木	NHK･FM	80.3	NHK第1	594
	RADIO BERRY	76.4	NHK第2	693
	放送大学	78.8	TBSラジオ	954
	FMぐんま	86.3	文化放送	1134
			IBS茨城放送	1197
			ニッポン放送	1242
			CRT栃木放送	1530
群馬	NHK･FM	81.6	NHK第1	594
	RADIO BERRY	76.4	NHK第2	693
	放送大学	78.8	TBSラジオ	954
	FMぐんま	86.3	文化放送	1134
			IBS茨城放送	1197
			ニッポン放送	1242
			CRT栃木放送	1530
埼玉	NHK･FM	85.1	NHK第1	594
	InterFM	76.1	NHK第2	693
	放送大学	77.1	AFN	810
	bayfm	78.0	TBSラジオ	954
	FM NACK5	79.5	文化放送	1134
	TOKYO FM	80.0	ニッポン放送	1242
	J-WAVE	81.3	ラジオ日本	1422
	FMヨコハマ	84.7		
千葉	NHK･FM	80.7	NHK第1	594
	InterFM	76.1	NHK第2	693
	放送大学	77.1	AFN	810
	bayfm	78.0	TBSラジオ	954
	FM NACK5	79.5	文化放送	1134
	TOKYO FM	80.0	ニッポン放送	1242
	J-WAVE	81.3	ラジオ日本	1422
	FMヨコハマ	84.7		

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
東京	NHK･FM	82.5	NHK第1	594
	InterFM	76.1	NHK第2	693
	放送大学	77.1	AFN	810
	bayfm	78.0	TBSラジオ	954
	FM NACK5	79.5	文化放送	1134
	TOKYO FM	80.0	ニッポン放送	1242
	J-WAVE	81.3	ラジオ日本	1422
	FMヨコハマ	84.7		
神奈川	NHK･FM	81.9	NHK第1	594
	InterFM	76.1	NHK第2	693
	放送大学	77.1	AFN	810
	bayfm	78.0	TBSラジオ	954
	FM NACK5	79.5	文化放送	1134
	TOKYO FM	80.0	ニッポン放送	1242
	J-WAVE	81.3	ラジオ日本	1422
	FMヨコハマ	84.7		
新潟	NHK･FM	82.3	NHK第1	837
	FM福井	76.1	NHK第2	1593
	FM-NIIGATA	77.5	KNBラジオ	738
	FM PORT	79.0	FBCラジオ	864
	エフエム石川	80.5	MROラジオ	1107
	FMとやま	82.7	BSNラジオ	1116
	KNBラジオ	80.1		
富山	NHK･FM	81.5	NHK第1	648
	FM福井	76.1	NHK第2	1035
	FM-NIIGATA	77.5	KNBラジオ	738
	FM PORT	79.0	FBCラジオ	864
	エフエム石川	80.5	MROラジオ	1107
	FMとやま	82.7	BSNラジオ	1116
	KNBラジオ	80.1		
石川	NHK･FM	82.2	NHK第1	1224
	FM福井	76.1	NHK第2	1386
	FM-NIIGATA	77.5	KNBラジオ	738
	FM PORT	79.0	FBCラジオ	864
	エフエム石川	80.5	MROラジオ	1107
	FMとやま	82.7	BSNラジオ	1116
	KNBラジオ	80.1		

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
福井	NHK･FM	83.4	NHK第1	927
	FM福井	76.1	NHK第2	1521
	FM-NIIGATA	77.5	KNBラジオ	738
	FM PORT	79.0	FBCラジオ	864
	エフエム石川	80.5	MROラジオ	1107
	FMとやま	82.7	BSNラジオ	1116
	KNBラジオ	80.1		
山梨	NHK･FM	85.6	NHK第1	927
	Radio-i	79.9	NHK第2	1602
	K-MIX	79.2	YBSラジオ	765
	FM長野	79.7	SBCラジオ	1098
	FM-FUJI	83.0	SBSラジオ	1404
長野	NHK･FM	84.0	NHK第1	819
	Radio-i	79.9	NHK第2	1467
	K-MIX	79.2	YBSラジオ	765
	FM長野	79.7	SBCラジオ	1098
	FM-FUJI	83.0	SBSラジオ	1404
岐阜	NHK･FM	83.6	NHK第1	729
	ZIP-FM	77.8	NHK第2	909
	Radio-i	79.5	CBCラジオ	1053
	Radio 80	80.0	東海ラジオ	1332
	FM AICHI	80.7	AM岐阜ラジオ	1431
	レディオキューブFM三重	78.9		
静岡	NHK･FM	88.8	NHK第1	882
	Radio-i	79.9	NHK第2	639
	K-MIX	79.2	YBSラジオ	765
	FM長野	79.7	SBCラジオ	1098
	FM-FUJI	83.0	SBSラジオ	1404
愛知	NHK･FM	82.5	NHK第1	729
	ZIP-FM	77.8	NHK第2	909
	Radio-i	79.5	CBCラジオ	1053
	Radio 80	80.0	東海ラジオ	1332
	FM AICHI	80.7	AM岐阜ラジオ	1431
	レディオキューブFM三重	78.9		
三重	NHK･FM	81.8	NHK第1	729
	ZIP-FM	77.8	NHK第2	909
	Radio-i	79.5	CBCラジオ	1053
	Radio 80	80.0	東海ラジオ	1332
	FM AICHI	80.7	AM岐阜ラジオ	1431
	レディオキューブFM三重	78.9		

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
滋賀	NHK･FM	84.0	NHK第1	666
	FM COCOLO	76.5	NHK第2	828
	e-radio	77.0	ABCラジオ	1008
	FM802	80.2	KBS京都	1143
	fm osaka	85.1	MBSラジオ	1179
	α-STATION	89.4	ラジオ大阪	1314
			WBS和歌山放送	1431
京都	NHK･FM	82.8	NHK第1	666
	FM COCOLO	76.5	NHK第2	828
	FM802	80.2	ラジオ関西	558
	fm osaka	85.1	ABCラジオ	1008
	α-STATION	89.4	KBS京都	1143
	Kiss-FM KOBE	89.9	MBSラジオ	1179
			ラジオ大阪	1314
大阪	NHK･FM	88.1	NHK第1	666
	FM COCOLO	76.5	NHK第2	828
	FM802	80.2	ラジオ関西	558
	fm osaka	85.1	ABCラジオ	1008
	α-STATION	89.4	KBS京都	1143
	Kiss-FM KOBE	89.9	MBSラジオ	1179
			ラジオ大阪	1314
兵庫	NHK･FM	86.5	NHK第1	666
	FM COCOLO	76.5	NHK第2	828
	FM802	80.2	ラジオ関西	558
	fm osaka	85.1	ABCラジオ	1008
	α-STATION	89.4	KBS京都	1143
	Kiss-FM KOBE	89.9	MBSラジオ	1179
			ラジオ大阪	1314
奈良	NHK･FM	87.4	NHK第1	666
	FM COCOLO	76.5	NHK第2	828
	e-radio	77.0	ABCラジオ	1008
	FM802	80.2	KBS京都	1143
	fm osaka	85.1	MBSラジオ	1179
	α-STATION	89.4	ラジオ大阪	1314
			WBS和歌山放送	1431

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数(MHz)	放送局名	周波数(kHz)
和歌山	NHK･FM	84.7	NHK第1	666
	FM COCOLO	76.5	NHK第2	828
	e-radio	77.0	ABCラジオ	1008
	FM802	80.2	KBS京都	1143
	fm osaka	85.1	MBSラジオ	1179
	α-STATION	89.4	ラジオ大阪	1314
			WBS和歌山放送	1431
鳥取	NHK･FM	85.8	NHK第1	1368
	FM岡山	76.8	NHK第2	1125
	V-air エフエム山陰	78.8	KRYラジオ	765
	HFM hiroshima-fm	78.2	BSSラジオ	900
	エフエム山口	79.2	RCCラジオ	1350
			RSKラジオ	1494
			AFN	1575
島根	NHK･FM	85.8	NHK第1	1296
	FM岡山	76.8	NHK第2	1593
	V-air エフエム山陰	78.8	KRYラジオ	765
	HFM hiroshima-fm	78.2	BSSラジオ	900
	エフエム山口	79.2	RCCラジオ	1350
			RSKラジオ	1494
			AFN	1575
岡山	NHK･FM	88.7	NHK第1	603
	FM岡山	76.8	NHK第2	1386
	V-air エフエム山陰	77.4	KRYラジオ	765
	HFM hiroshima-fm	78.2	BSSラジオ	900
	エフエム山口	79.2	RCCラジオ	1350
			RSKラジオ	1494
			AFN	1575
広島	NHK･FM	88.3	NHK第1	1071
	FM岡山	76.8	NHK第2	702
	V-air エフエム山陰	77.4	KRYラジオ	765
	HFM hiroshima-fm	78.2	BSSラジオ	900
	エフエム山口	79.2	RCCラジオ	1350
			RSKラジオ	1494
			AFN	1575

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
山口	NHK･FM	85.3	NHK第1	675
	FM岡山	76.8	NHK第2	1377
	V-air エフエム山陰	77.4	KRYラジオ	765
	HFM hiroshima-fm	78.2	BSSラジオ	900
	エフエム山口	79.2	RCCラジオ	1350
			RSKラジオ	1494
			AFN	1575
徳島	NHK･FM	83.4	NHK第1	945
	FM香川	78.6	NHK第2	828
	FM愛媛	79.7	RKCラジオ	900
	エフエム徳島	80.7	RNBラジオ	1116
	FM高知	81.6	JRTラジオ	1269
			RNCラジオ	1449
香川	NHK･FM	86.0	NHK第1	1368
	FM香川	78.6	NHK第2	1035
	FM愛媛	79.7	RKCラジオ	900
	エフエム徳島	80.7	RNBラジオ	1116
	FM高知	81.6	JRTラジオ	1269
			RNCラジオ	1449
愛媛	NHK･FM	87.7	NHK第1	963
	FM香川	78.6	NHK第2	1512
	FM愛媛	79.7	RKCラジオ	900
	エフエム徳島	80.7	RNBラジオ	1116
	FM高知	81.6	JRTラジオ	1269
			RNCラジオ	1449
高知	NHK･FM	87.5	NHK第1	990
	FM香川	78.6	NHK第2	1152
	FM愛媛	79.7	RKCラジオ	900
	エフエム徳島	80.7	RNBラジオ	1116
	FM高知	81.6	JRTラジオ	1269
			RNCラジオ	1449
福岡（福岡）	NHK･FM	84.8	NHK第1	612
	LOVE FM	76.1	NHK第2	1017
	エフエム佐賀	77.9	OBSラジオ	1098
	CROSS FM	78.7	NBCラジオ	1233
	Smile-FM	79.5	RKBラジオ	1278
	fm fukuoka	80.7	KBCラジオ	1413
	エフエム大分	88.0	AFN	1575

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
福岡（北九州）	NHK･FM	85.7	NHK第1	540
	LOVE FM	82.7	NHK第2	1602
	エフエム佐賀	77.9	OBSラジオ	1098
	CROSS FM	77.0	NBCラジオ	1233
	Smile-FM	79.5	RKBラジオ	1197
	fm fukuoka	80.0	KBCラジオ	720
	エフエム大分	88.0	AFN	1575
佐賀	NHK･FM	81.6	NHK第1	963
	LOVE FM	76.1	NHK第2	873
	エフエム佐賀	77.9	OBSラジオ	1098
	CROSS FM	78.7	NBCラジオ	1233
	Smile-FM	79.5	RKBラジオ	1278
	fm fukuoka	80.7	KBCラジオ	1413
	エフエム大分	88.0	AFN	1575
長崎	NHK･FM	84.5	NHK第1	684
	LOVE FM	76.1	NHK第2	1377
	エフエム佐賀	77.9	OBSラジオ	1098
	CROSS FM	78.7	NBCラジオ	1233
	Smile-FM	79.5	RKBラジオ	1278
	fm fukuoka	80.7	KBCラジオ	1413
	エフエム大分	88.0	AFN	1575
熊本	NHK･FM	85.4	NHK第1	756
	FMK エフエム･クマモト	77.4	NHK第2	873
	μ-FM エフエム鹿児島	79.8	AFN	648
	JOY FM FM宮崎	83.2	RBCiラジオ	738
	エフエム沖縄	87.3	ROK ラジオ沖縄	864
	AFN	89.1	MRTラジオ	936
	NHK第1	81.3	MBCラジオ	1107
	NHK第2	80.3	RKKラジオ	1197
	RBCiラジオ	82.6		
	ROK ラジオ沖縄	80.1		
大分	NHK･FM	88.9	NHK第1	639
	LOVE FM	76.1	NHK第2	1467
	エフエム佐賀	77.9	OBSラジオ	1098
	CROSS FM	78.7	NBCラジオ	1233
	Smile-FM	79.5	RKBラジオ	1278
	fm fukuoka	80.7	KBCラジオ	1413
	エフエム大分	88.0	AFN	1575

地域設定	FM		AM	
	放送局名	周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）
宮崎	NHK･FM	86.2	NHK第1	540
	FMK エフエム･クマモト	77.4	NHK第2	1467
	μ-FM エフエム鹿児島	79.8	AFN	648
	JOY FM FM宮崎	83.2	RBCiラジオ	738
	エフエム沖縄	87.3	ROK ラジオ沖縄	864
	AFN	89.1	MRTラジオ	936
	NHK第1	81.3	MBCラジオ	1107
	NHK第2	80.3	RKKラジオ	1197
	RBCiラジオ	82.6		
	ROK ラジオ沖縄	80.1		
鹿児島	NHK･FM	85.6	NHK第1	576
	FMK エフエム･クマモト	77.4	NHK第2	1386
	μ-FM エフエム鹿児島	79.8	AFN	648
	JOY FM FM宮崎	83.2	RBCiラジオ	738
	エフエム沖縄	87.3	ROK ラジオ沖縄	864
	AFN	89.1	MRTラジオ	936
	NHK第1	81.3	MBCラジオ	1107
	NHK第2	80.3	RKKラジオ	1197
	RBCiラジオ	82.6		
	ROK ラジオ沖縄	80.1		
沖縄	NHK･FM	88.1	NHK第1	549
	FMK エフエム･クマモト	77.4	NHK第2	1125
	μ-FM エフエム鹿児島	79.8	AFN	648
	JOY FM FM宮崎	83.2	RBCiラジオ	738
	エフエム沖縄	87.3	ROK ラジオ沖縄	864
	AFN	89.1	MRTラジオ	936
	NHK第1	83.5	MBCラジオ	1107
	NHK第2	80.3	RKKラジオ	1197
	RBCiラジオ	82.6		
	ROK ラジオ沖縄	80.1		

用語解説

■ 五十音順

結露(露つき)
暖房を入れて室温が急に上がったときなどに、本機内部に水滴が付くこと。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置する。

バイト
パソコンなどのデジタルデータを表す基本的な単位のひとつ。デジタルデータは、「0か1か」で表されるが、このデータひとつが1ビット、8ビットで1バイトという単位になる。半角文字は1バイトで表すため1バイト文字、一般的に全角文字は2バイトで表すため2バイト文字という。

ハードディスク
パソコンなどに使われている大容量データ記憶装置の1つ。磁気ディスクと駆動機構が一体になっているため、非常に高速で読み書きすることができ、データの検索性にすぐれている。

ファンクション
本書で記載している「ファンクション」とは、本機で再生できるHDD、CD、ラジオ、"ウォークマン"、外部機器の各音源を指定するための機能を指す(HDDファンクション、CDファンクションなど)。

アルファベット順

AAC
「Advanced Audio Coding」の略で、ISO(国際標準化機構)/IEC(国際電気標準会議)のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。MP3よりも高い圧縮率で高音質を実現している。

ATRAC
ソニー株式会社が開発した音声圧縮技術。高圧縮率かつ高音質を実現。

ID3
MP3ファイルに記録される曲名やアーティスト名などの情報。本機では、MP3形式の曲の詳細情報は、このID3タグを表示している。

MP3
「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格。音声データをCDの約1/10に圧縮できる。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダーやデコーダーが存在する。パソコンの世界で広く普及している。

USBメモリ
本書では、USB Mass Storage Class規格に対応したUSB機器で、パソコンのUSB端子に接続するだけでリムーバブルディスクとして使える記憶装置のことを指す。
例えば、USBプレーヤーなども、USB Mass Storage Class規格に対応していれば、USBメモリとして使える。

WMA
「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフト株式会社が開発した音声圧縮技術。音声データをCDの約1/22に圧縮できる。

WM-PORT
"ウォークマン"を接続するための専用マルチ接続端子。

索引

商標およびライセンスについて

- “ATRAC”、OpenMGおよびそれぞれのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- ポケットビットおよびそのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- 本機はFraunhofer ⅡS及びThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote®. Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2009 Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-2008 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Some services supplied under license from Open Globe, Inc. for U.S. Patent: #6,304,523.
  Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote.
  The Gracenote logo and logotype, and the “Powered by Gracenote” logo are trademarks of Gracenote.

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンライン サーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアやGracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。 Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。
Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。
Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では™、®マークは明記していません。